

「EBPMをはじめとした統計改革を推進するための調査研究」
（社会人の学び直しの実態把握に関する調査研究）

調査報告書

株式会社エーフォース
調査部門

INDEX

インデックス目次

社会人等に対するアンケート調査

I 調査概要・共通項目 p3 - 9

1. 調査概要
2. 属性1 (年齢)・属性2 (性別)
3. 属性3 (最終学歴)
4. 属性4 (就業状況)・属性5 (職業)
5. 属性6 (役職)・属性7 (業種)
6. 属性8 (担当業務)・属性9 (年収)
7. 属性9 (現在・過去の学び直し経験)・
属性10 (学んでいる機関)

II 調査結果 (対象：大学等で学んでいる回答者)

p11 - 17

1. 学んでいる (学んでいた) 機関・学び直しの目的
2. 学んでいる (学んでいた) 専攻分野・履修形態
3. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業の総時間数
4. 学んでいる (学んでいた) 授業料の負担者・費用総額
5. 重視してほしいこと (教育環境面・カリキュラム)
6. 学び直し後の処遇・キャリア上の変化
7. 学び直し後の年収変化

III 調査結果 (対象：民間・勤務先・職業訓練校等で学んでいる回答者) p19 - 25

1. 学んでいる (学んでいた) 機関・学び直しの目的
2. 学んでいる (学んでいた) 分野・講座の期間
3. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業料の負担者
4. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業料の総額
5. 大学での学び直しの有無・改善すべき点
6. 学び直し後の処遇・キャリア上の変化
7. 学び直し後の年収変化

IV 調査結果 (対象：大学等及び民間・勤務先・職業訓練校等の両方で学んでいる回答者)

p27 - 36

1. 学んでいる (学んでいた) 機関・学び直しの目的
2. 学んでいる (学んでいた) 専攻分野・履修形態
3. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業の総時間数
4. 学んでいる (学んでいた) 授業料の負担者・費用総額
5. 重視してほしいこと (教育環境面・カリキュラム)
6. 学んでいる (学んでいた) 分野・講座の期間
7. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業料の負担者
8. 学んでいる (学んでいた) 環境・授業料の総額
9. 学び直し後の処遇・キャリア上の変化
10. 学び直し後の年収変化

V 分析結果 (クロス集計) P38 - 45

1. 調査分析結果
2. 現在の年収×現在・過去の学び直し経験
3. 学んでいる (学んでいた) 機関
×処遇・キャリア上のポジティブな変化
4. ①学んでいる (学んでいた) 大学等の専攻分野
×処遇・キャリア上のポジティブな変化
②学んでいる (学んでいた) 分野
×処遇・キャリア上のポジティブな変化
5. 現在の役職×学び直しの目的
6. ①現在の業種
×学んでいる (学んでいた) 大学等の専攻分野
②現在の業種
×学んでいる (学んでいた) 分野

I 調査概要・共通項目

調査目的	社会人に対するアンケート調査を行い、大学等における学び直しの実施の有無や阻害要因、大学等の教育機関に求める教育内容・方法などについて実態を把握し、現状や課題を分析することで、大学等におけるリカレント講座の持続可能な運営に必要な基礎資料を得る。
調査対象者	5,153名
調査手法	Webアンケート
調査結果の見方	<ul style="list-style-type: none">・ nは有効回答数を表している。・ 回答率(%)は小数点以下を四捨五入している。このため、合計数値は必ずしも100%とはならない場合がある。・ 設問の回答には、単一回答と複数回答がある。複数回答の設問は、回答率(%)の合計が100%を超える場合がある。

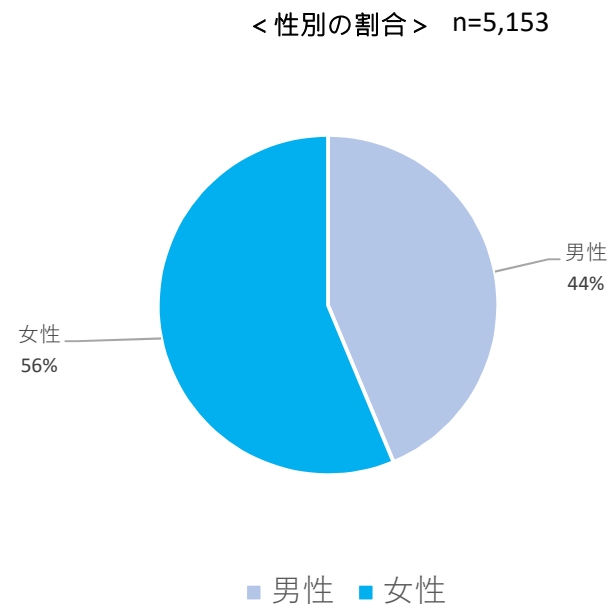
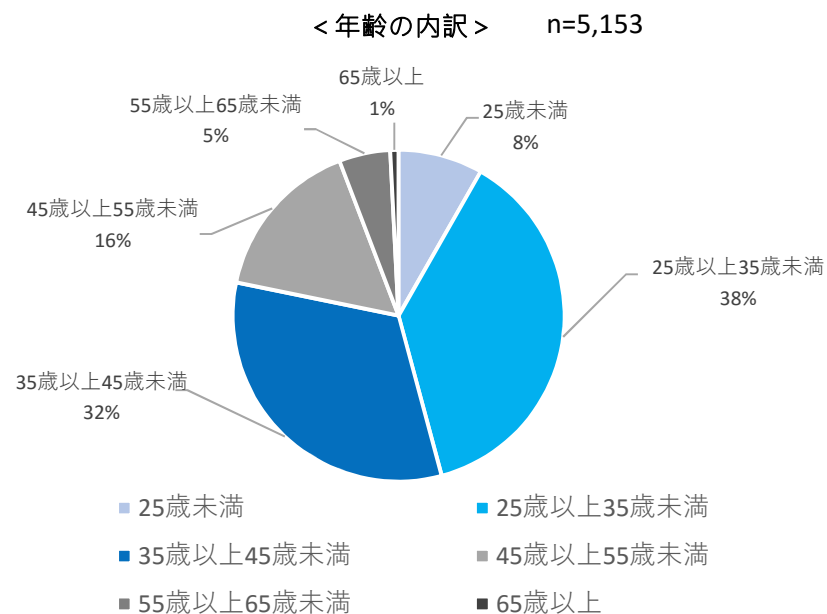
【I-2】 属性1（年齢），属性2（性別）

属性1 年齢

属性2 性別

- 属性1：
回答者の年齢バンドは25歳～35歳、35歳～45歳の
2つのバンドが**30%以上**と多い。

- 属性2：
回答者の性別は、**女性が56%**とやや多い。

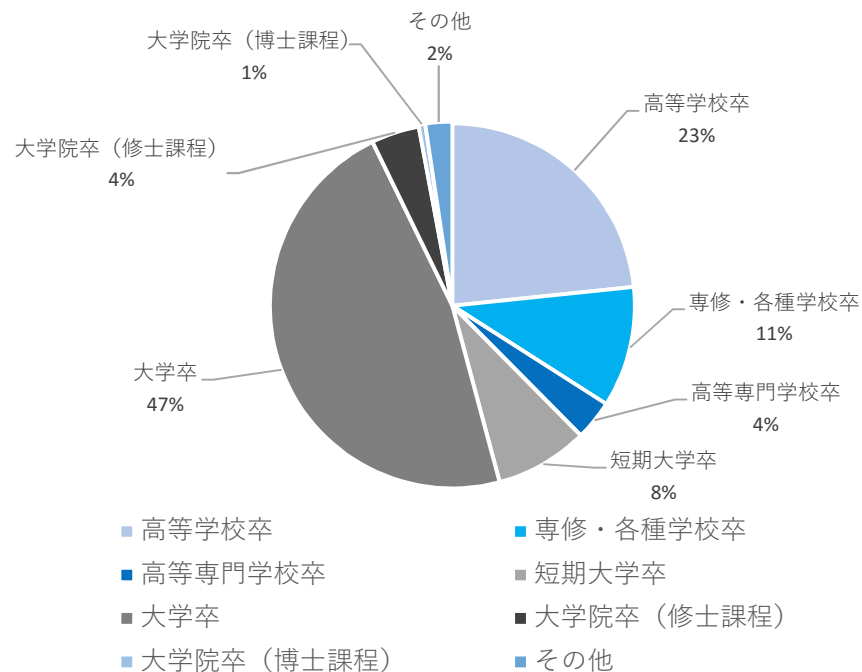


属性3	最終学歴
-----	------

■ 属性3：

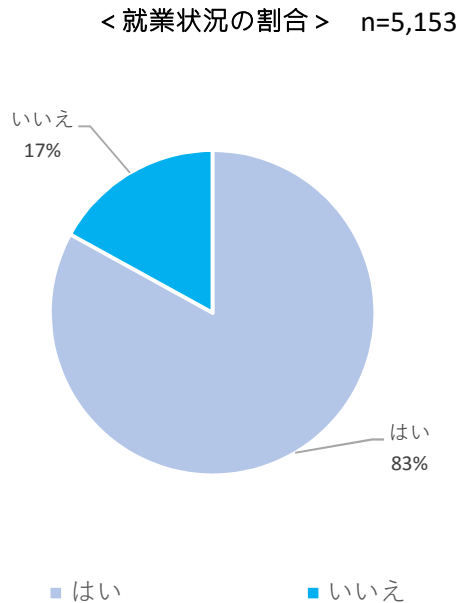
回答者の最終学歴は、**大学卒が47%**と最も多く、高等学校卒（23%）、専修・各種学校卒（11%）と続く。

< 最終学歴の内訳 > n=5,153



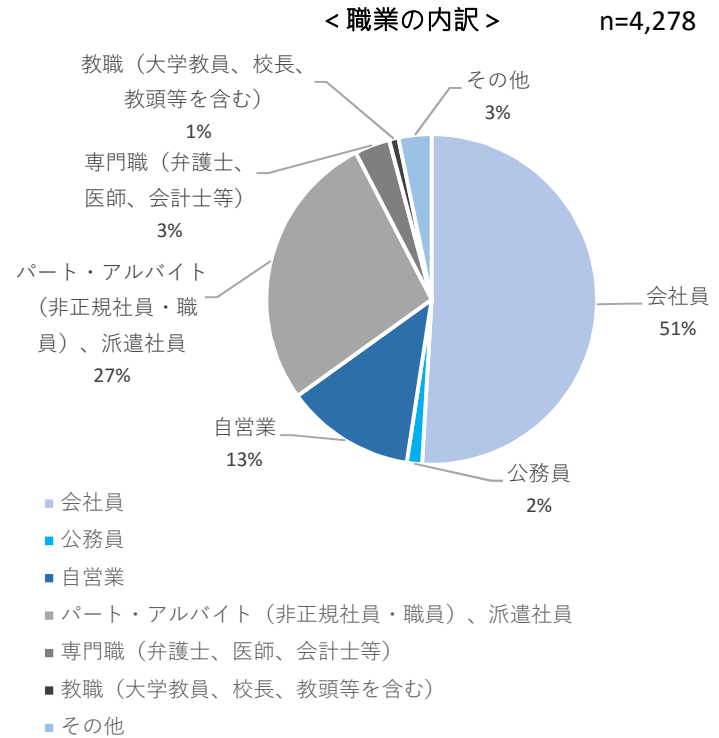
属性4 | 就業状況

■ 属性4：
回答者のうち、**83%**が**現在就業状況**にある。



属性5 | 職業

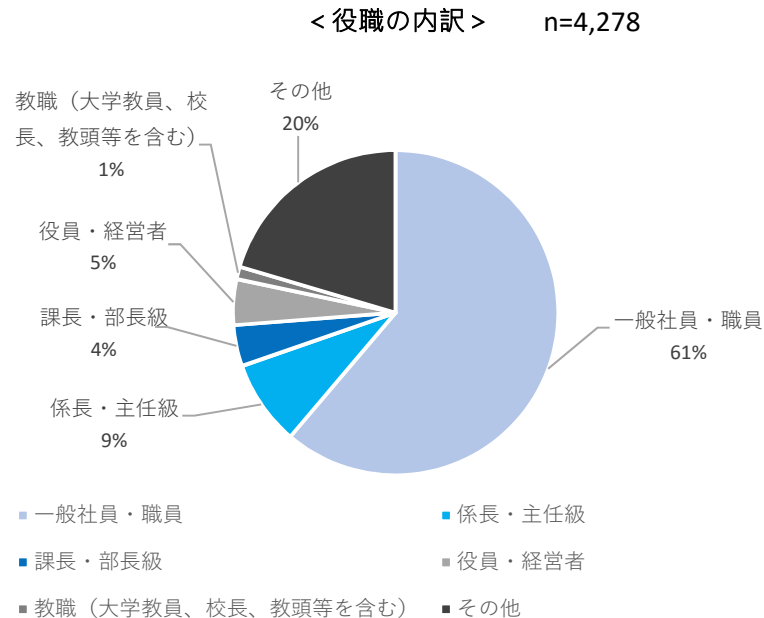
■ 属性5：
現在就業状況にある回答者の職業は、**会社員が51%**と最も多く、パート・アルバイト（27%）、自営業（13%）と続く。



属性6 役職

■ 属性6：

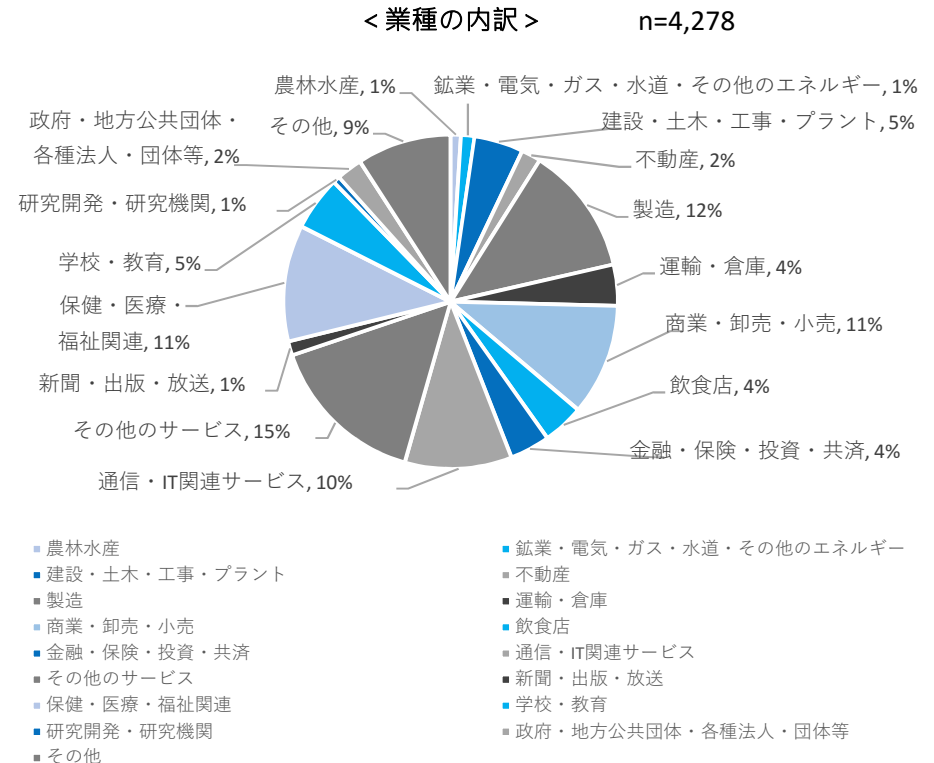
現在就業状況にある回答者の役職は、**一般社員・職員**が**61%**と最も多く、その他（20%）、係長・主任級（9%）と続く。



属性7 業種

■ 属性7：

現在就業状況にある回答者の業種は、**その他のサービス**が**15%**と最も多く、製造（12%）、保健・医療・福祉関連（11%）、商業・卸売・小売（11%）、通信・IT関連サービス（10%）と続く。



属性8 担当業務

属性9 年収

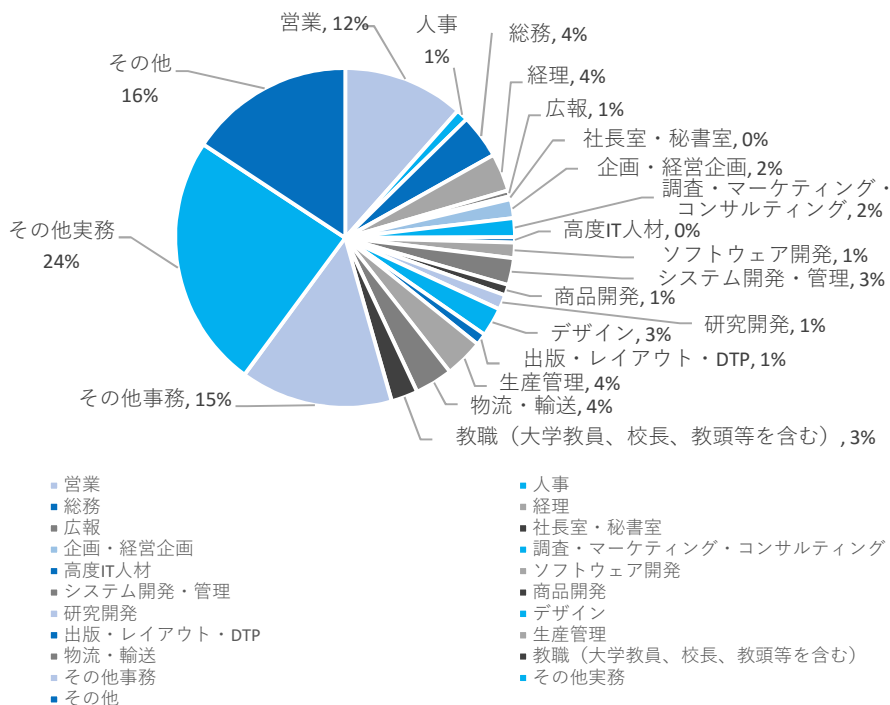
■ 属性8：

現在働いている回答者の担当業務は、**その他実務が24%**と最も多く、その他（16%）、その他事務（15%）、営業（12%）と続く。

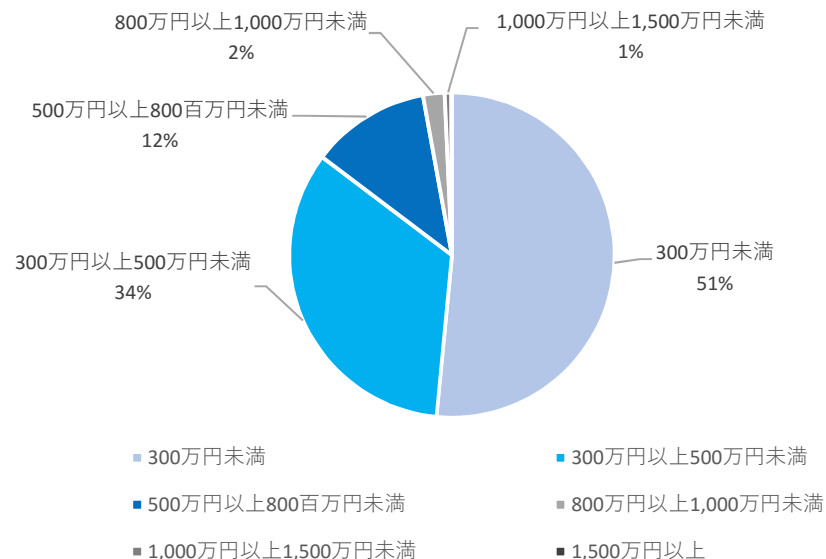
■ 属性9：

現在働いている回答者の年収は、**300万円未満が51%**と**半数以上**で最も多く、年収が上がるにつれて比率は下がる。

< 業種の内訳 > n=4,278



< 年収の内訳 > n=4,278



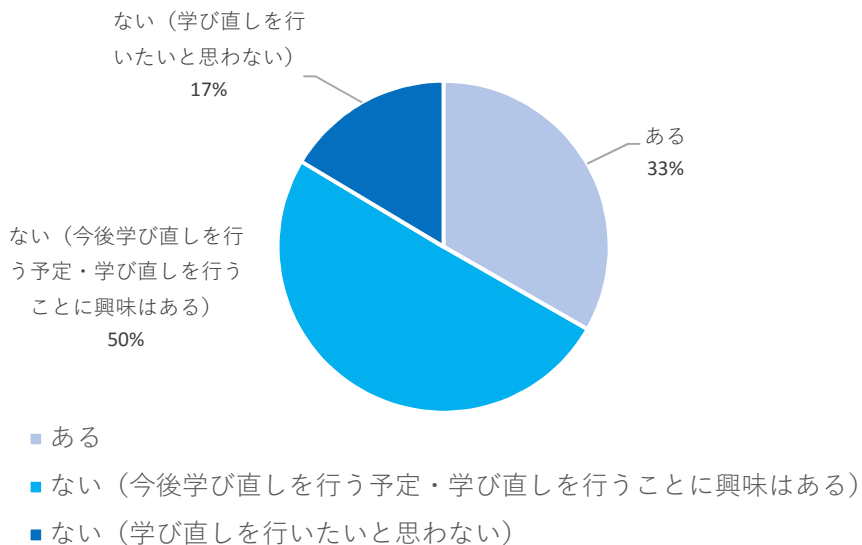
属性9 | 現在・過去の学び直し経験

属性10 | 学んでいる機関

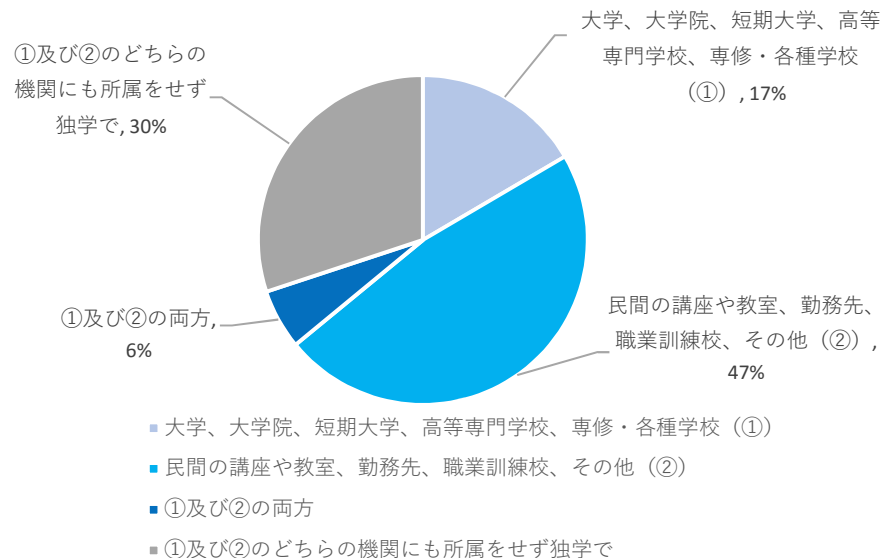
■ 属性9：
学び直しを実施したことがないが**予定・興味がある回答者が50%**もいた。学び直しを実施したことがある回答者も1/3（33%）いた。

■ 属性10：
学び直しを実施したことがある回答者は、**半数近く（47%）が民間の講座等**と学んでいた。独学で学んでいる回答者も30%いた。

< 学び直しの有無の内訳 > n=5,153

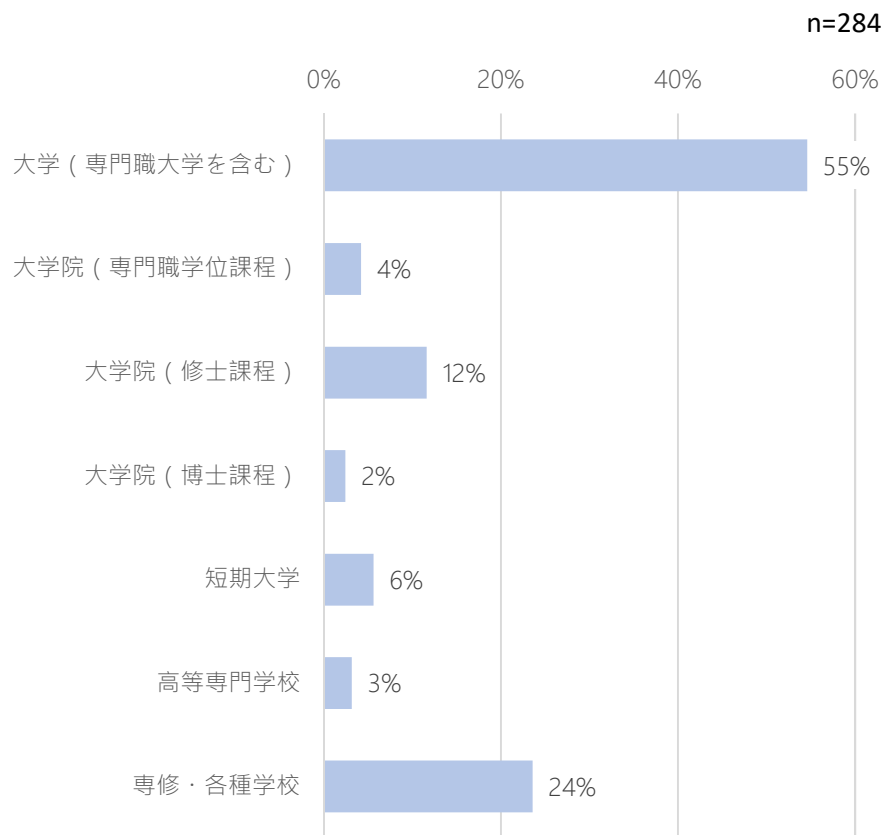


< 学んでいる機関の内訳 > n=1,716



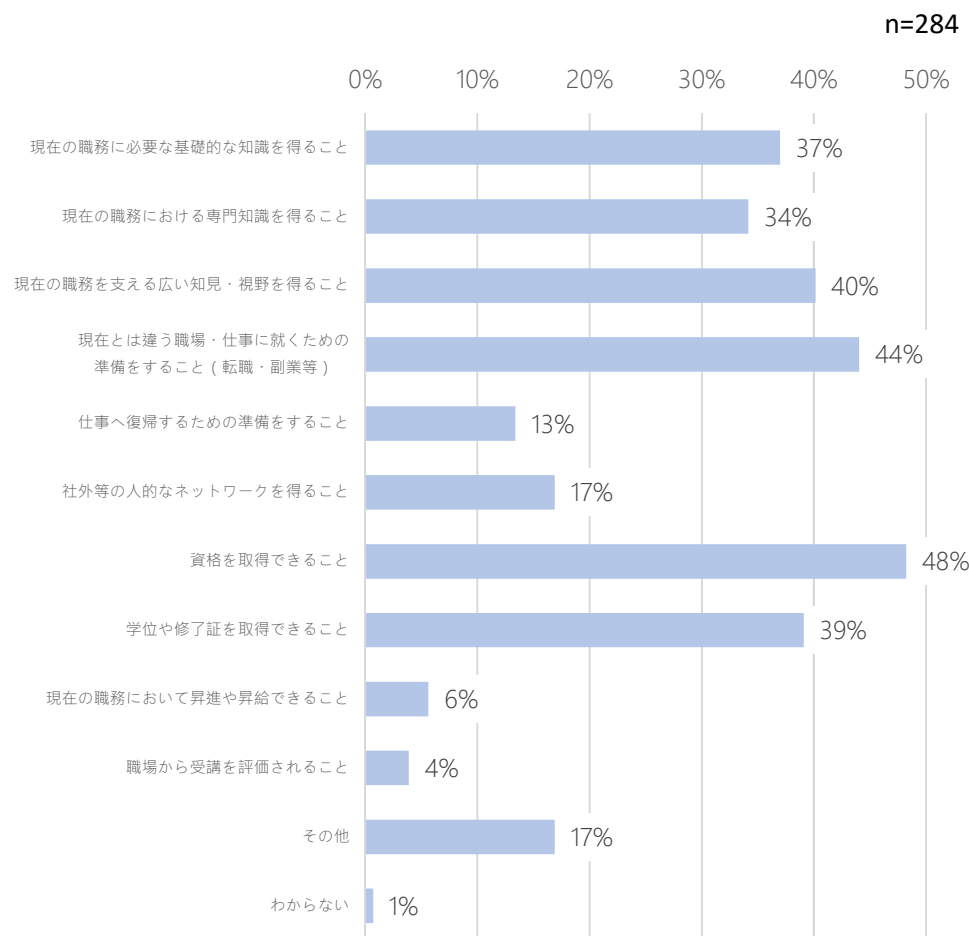
II 調査結果（対象：大学等で学んでいる回答者）

問3-3 あなたが学んでいる（学んでいた）機関等について教えてください。（聴講生、公開講座の受講生も対象に含みます。）



注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

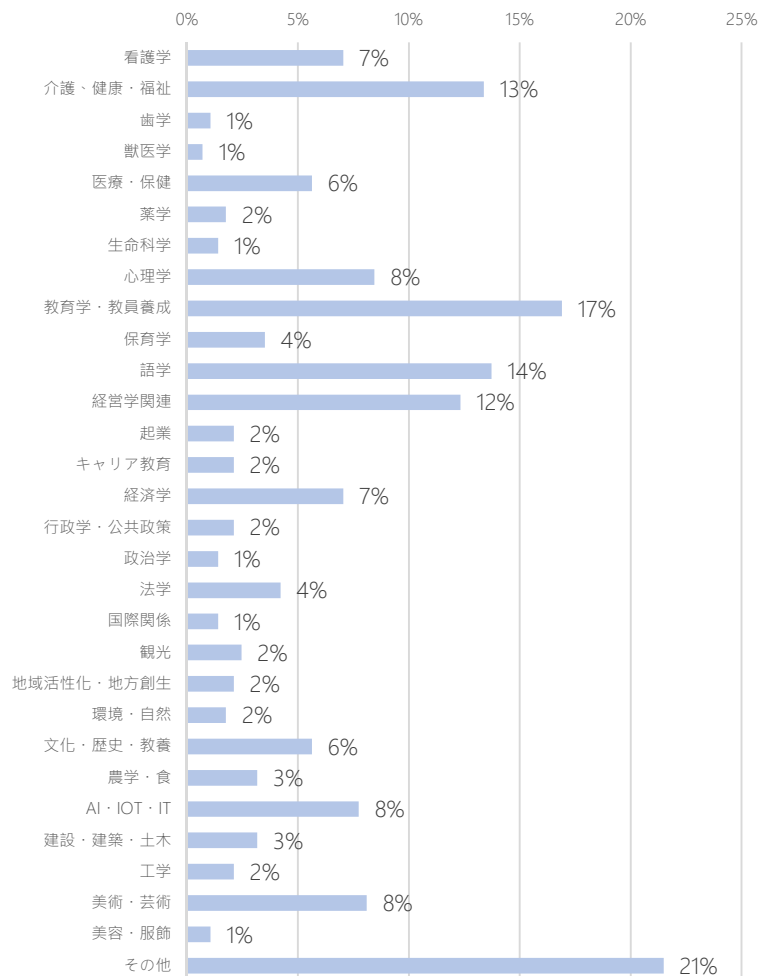
問3-4 どのような目的で学び直しを行っている（いた）か教えてください。（優先順位の高い順に3つ選択してください）



注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-5 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野を教えてください。

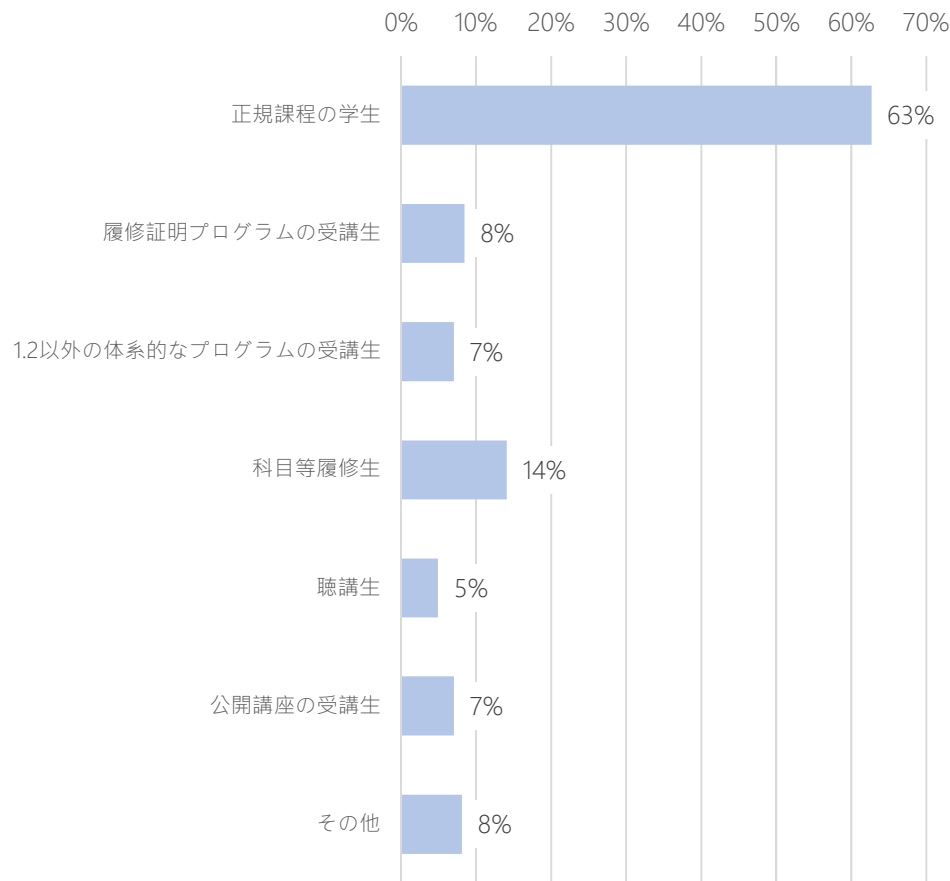
n=284



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

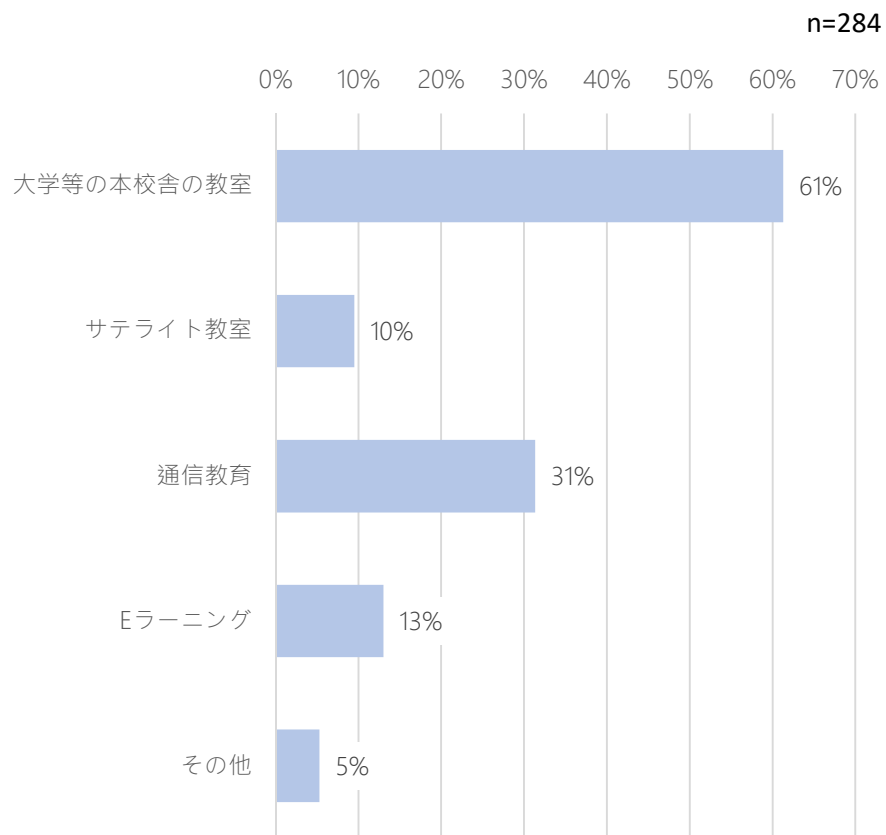
問3-6 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等での履修形態を教えてください。

n=284



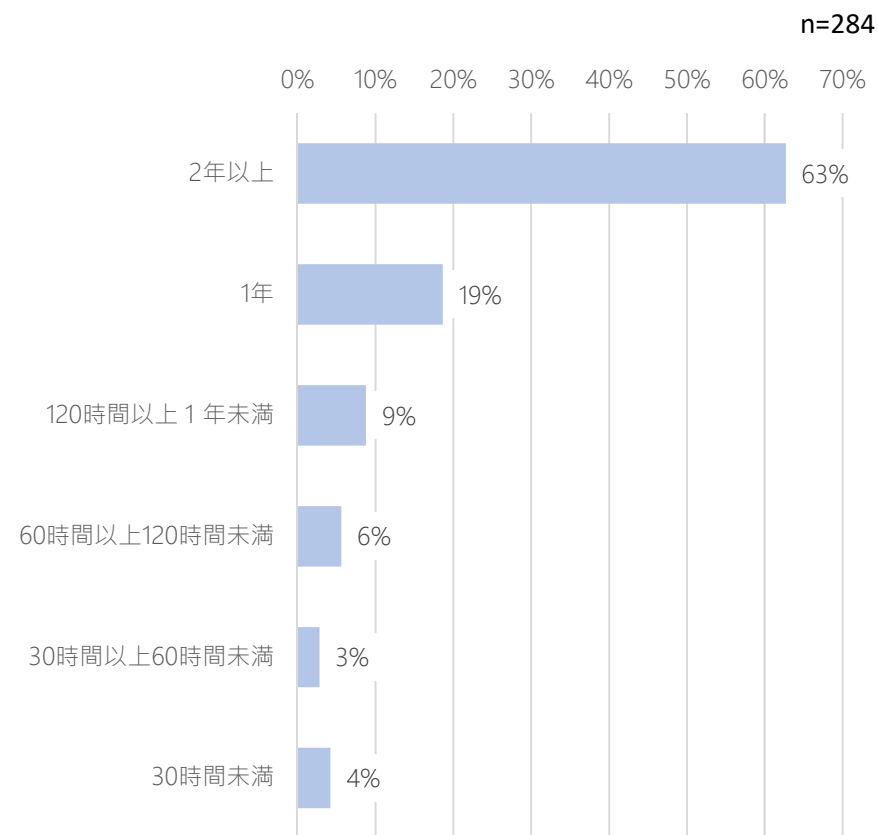
注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-7 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の環境を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-8 あなたが学んでいる（学んでいた）授業の総時間数（期間）を教えてください。

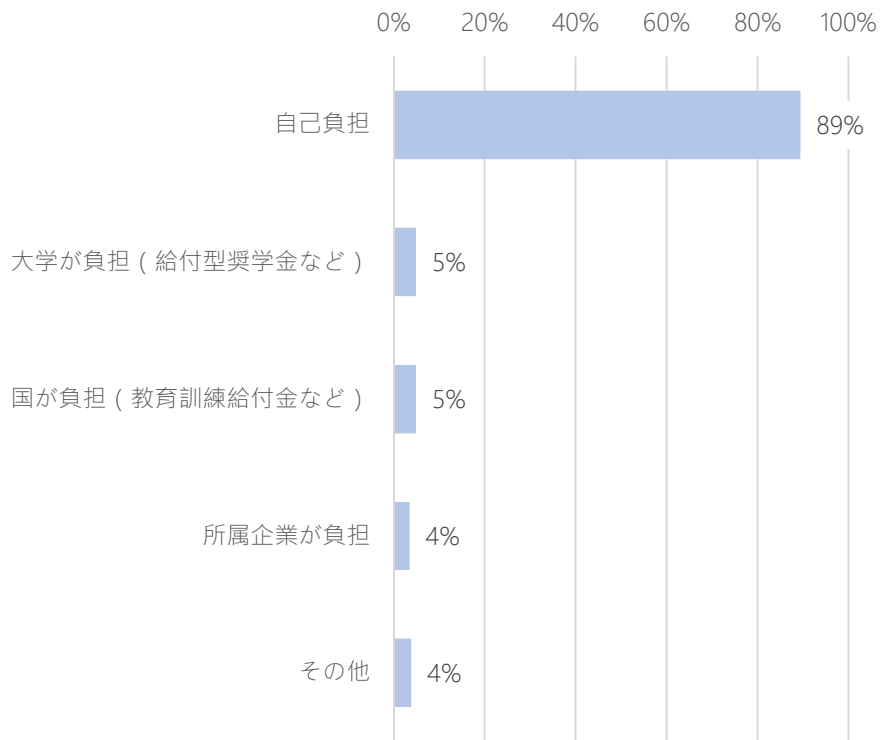


注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-9 あなたが学んでいる（学んでいた）授業料の負担者について、当てはまるものを全て教えてください。

※なお、全部または一部など複数の組み合わせによる支払を行っている場合は、全て選択してください。

n=284



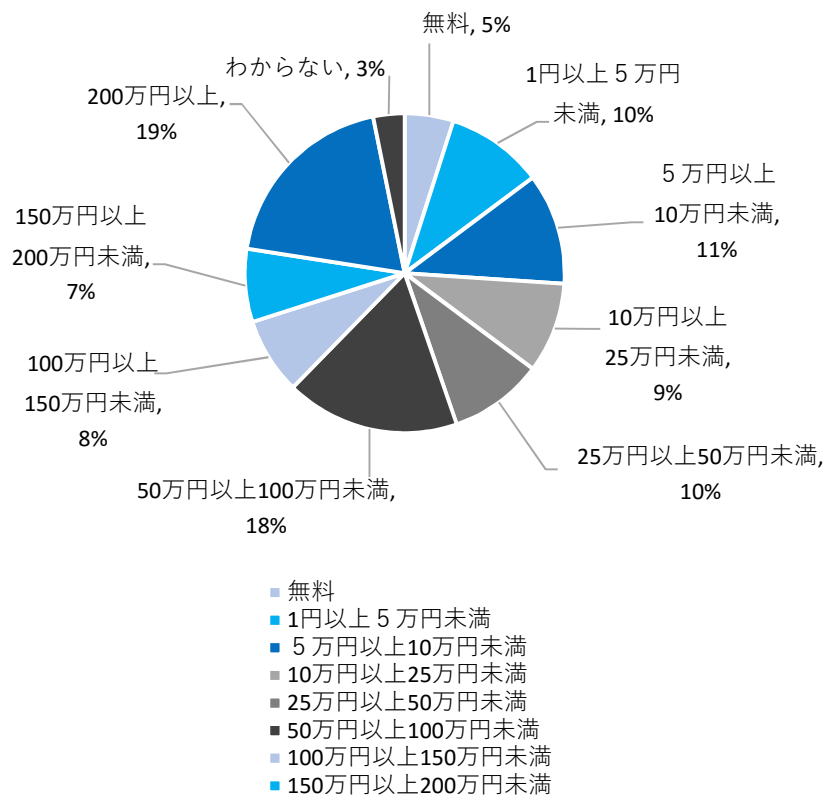
注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-10 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の入学金や授業料に相当する総額を教えてください。

（コースに入学してから終了するまでに必要な費用の総額をお答えください。奨学金や給付金等費用援助を受けた金額を差し引くものではありません。）

※大学等で複数回学んでいた場合は、1講座に必要な総額のうち最も高額なものをご記入ください。

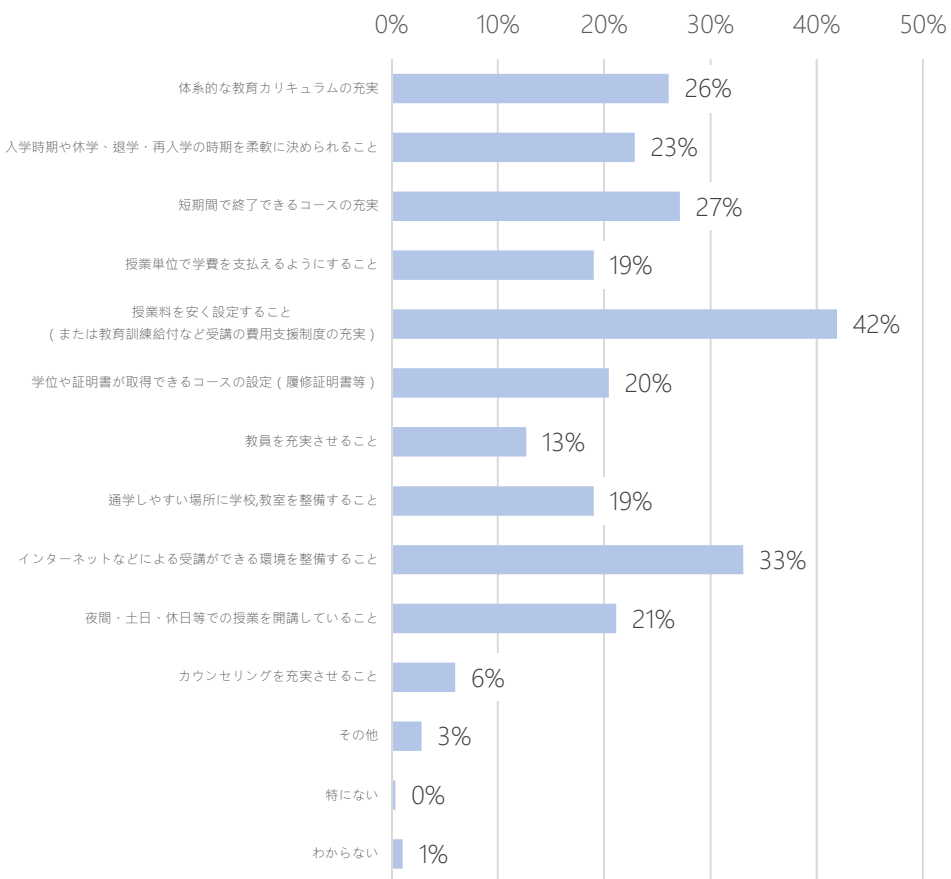
n=284



【II-5】 重視してほしいこと（教育環境面・カリキュラム）

問4-1 大学等で学び直しを行うにあたって、教育環境面で特に重視してほしいことは次のうちどれですか。（3つまで選択してください）

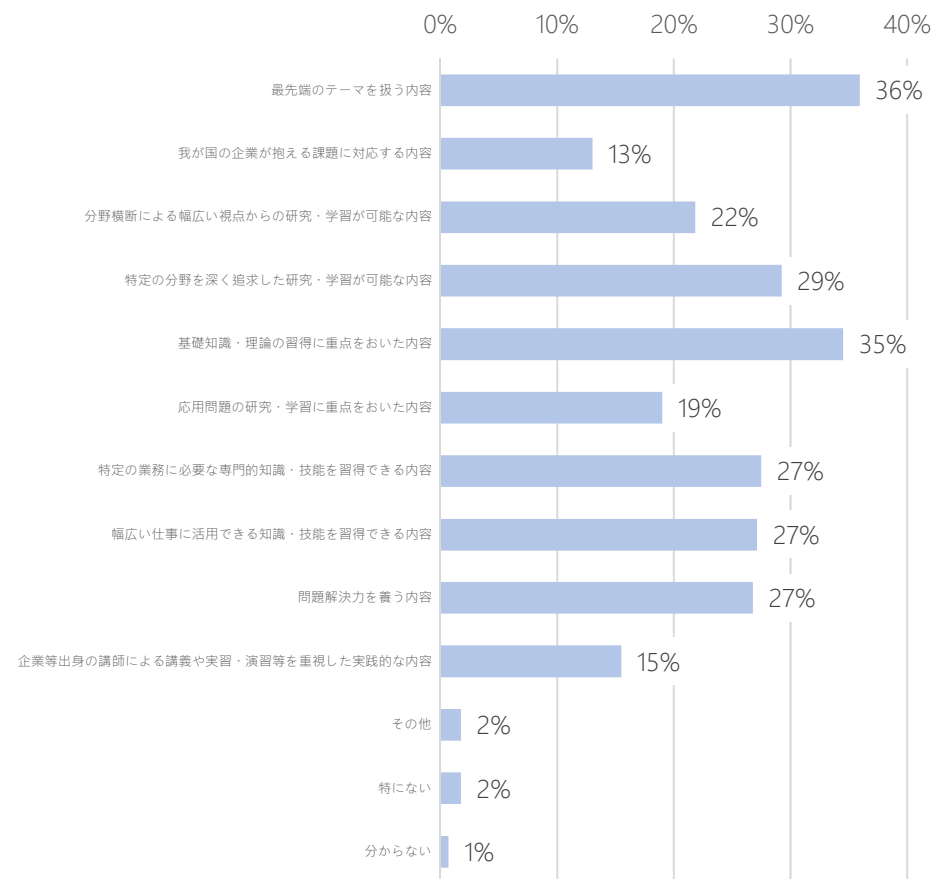
n=284



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問4-2 あなたが、大学等のカリキュラムとして特に重視してほしい内容は次のうちどれですか。（3つまで選択してください）

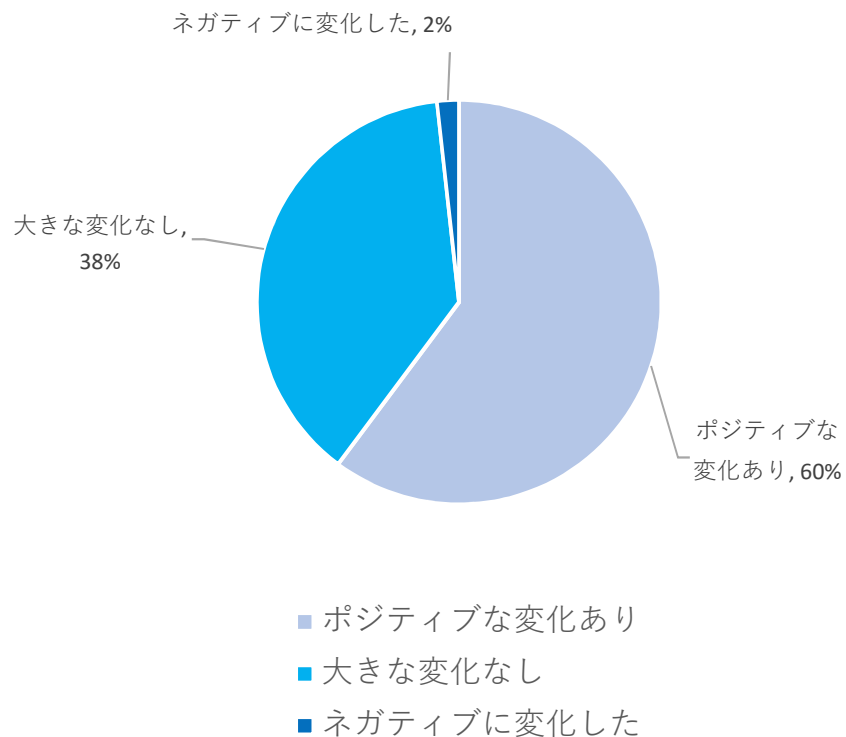
n=284



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

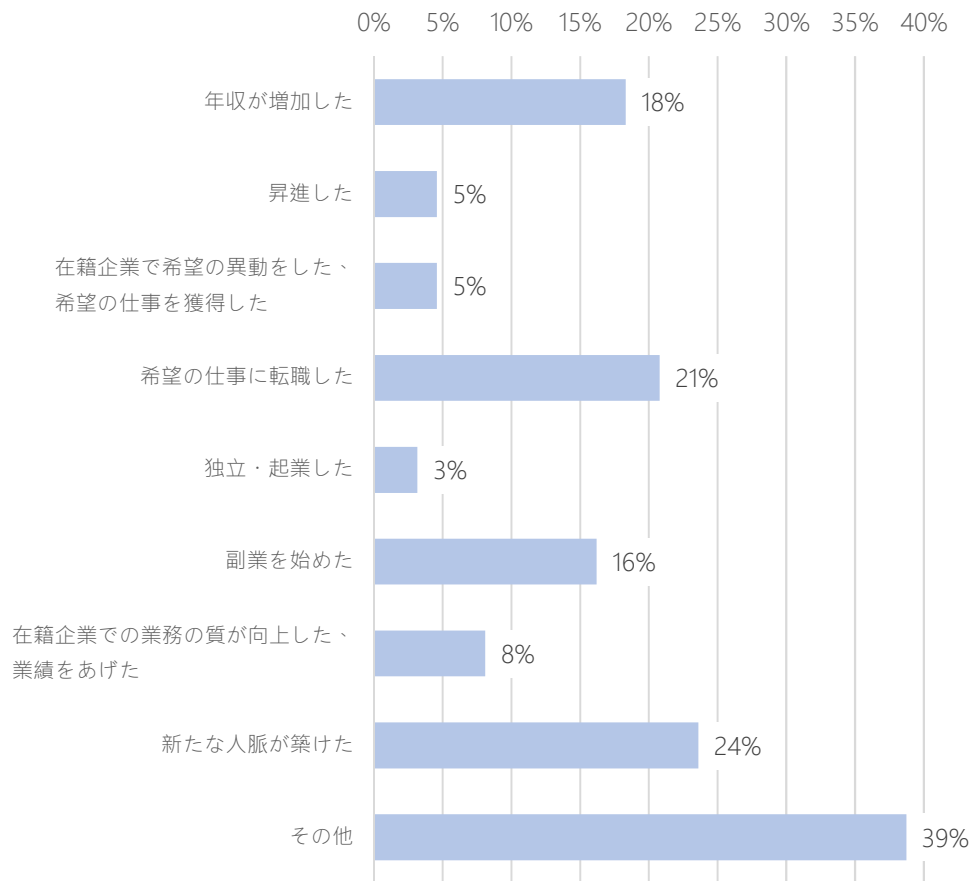
問5-1 学び直しを行った後、処遇・キャリア上の変化はありましたか。

n=284



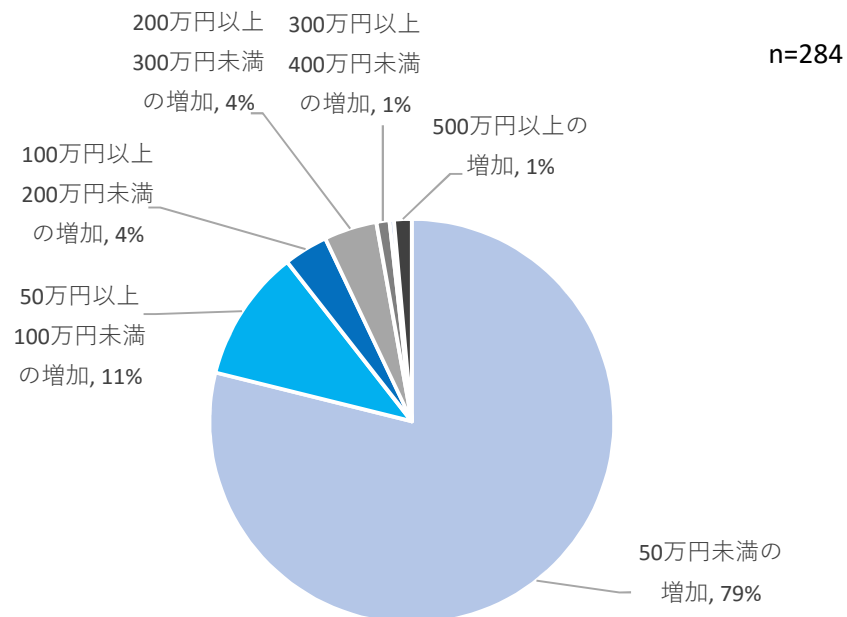
問5-2 具体的にはどのような変化がございましたか。
(当てはまるもの全てに御回答ください)

n=284



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

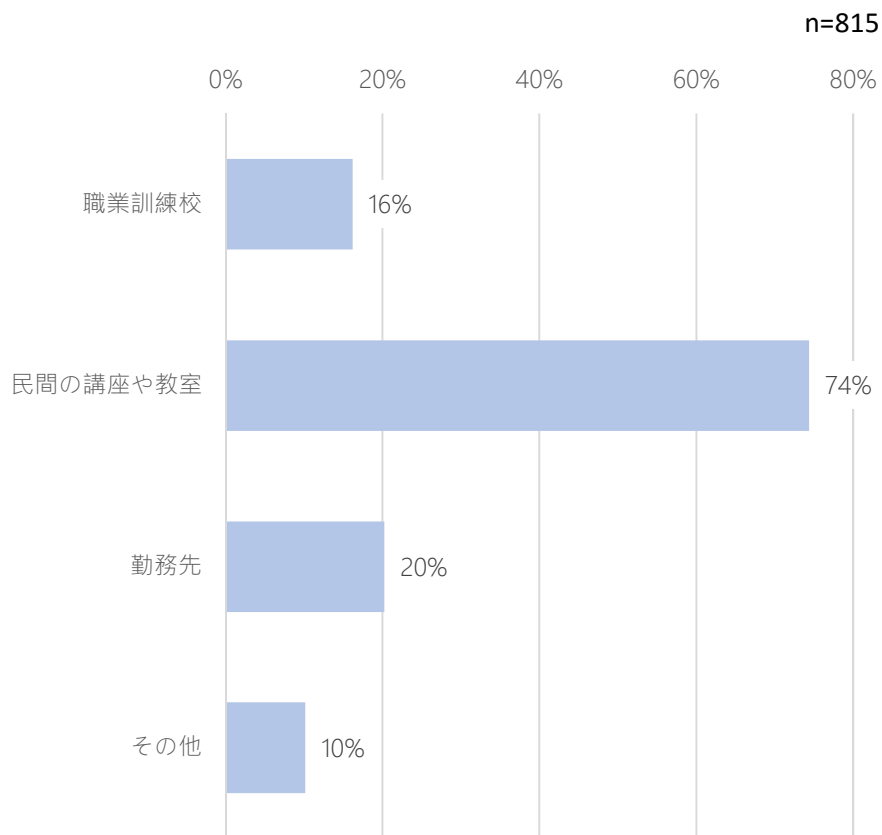
問5-3 学び直しを実施したことで、どの程度年収に変化がありましたか。



- 50万円未満の増加
- 50万円以上100万円未満の増加
- 100万円以上200万円未満の増加
- 200万円以上300万円未満の増加
- 300万円以上400万円未満の増加
- 400万円以上500万円未満の増加
- 500万円以上の増加

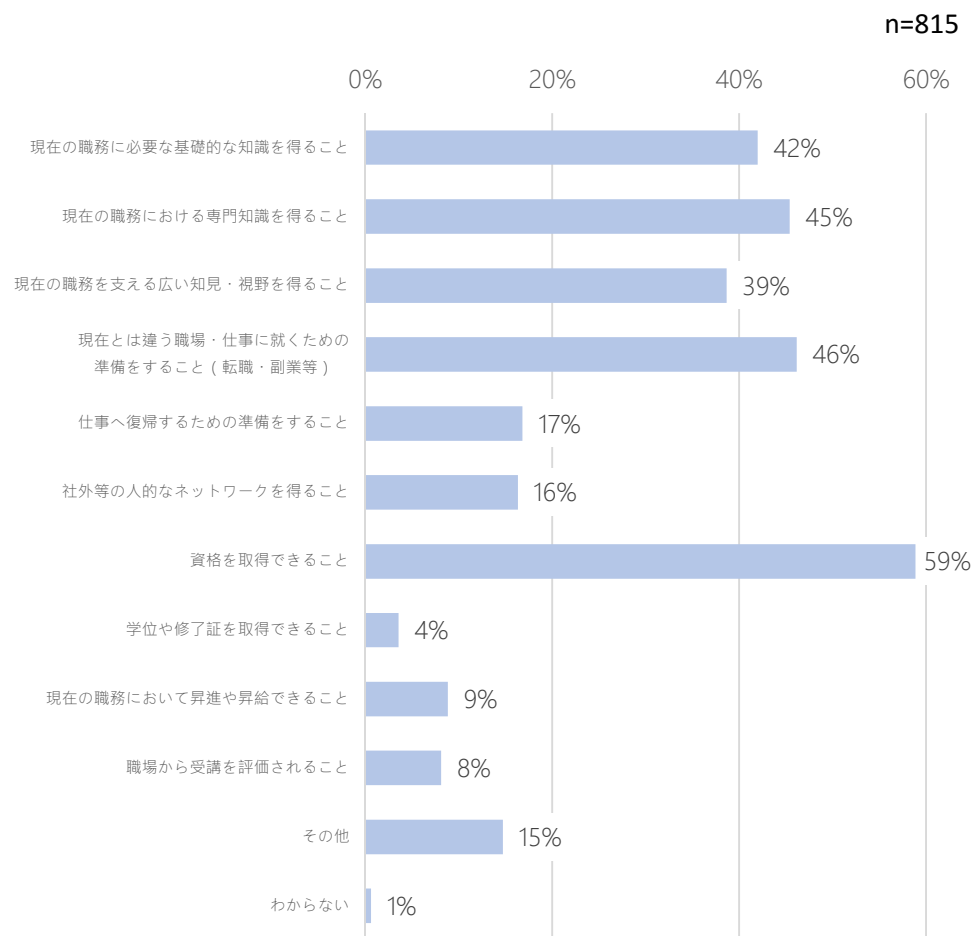
Ⅲ 調査結果（対象：民間・勤務先・職業訓練校等で学んでいる回答者）

問3-3 あなたが学んでいる（学んでいた）機関等について教えてください。（聴講生、公開講座の受講生も対象に含みます。）



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

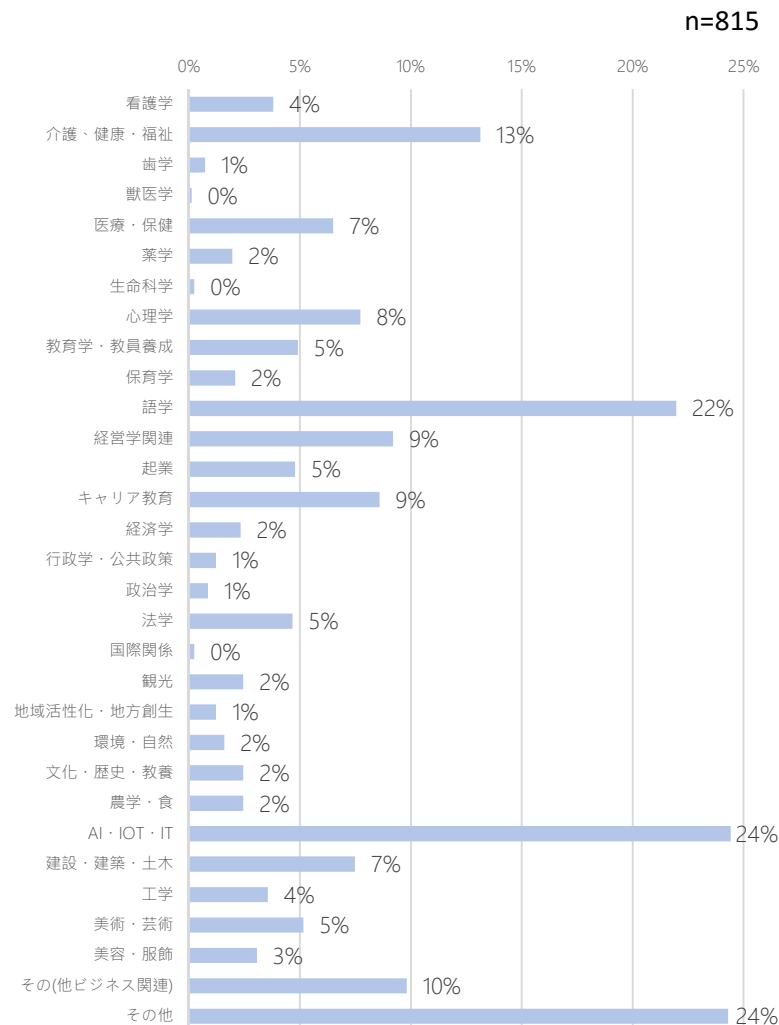
問3-4 どのような目的で学び直しを行っている（いた）か教えてください。（優先順位の高い順に3つ選択してください）



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

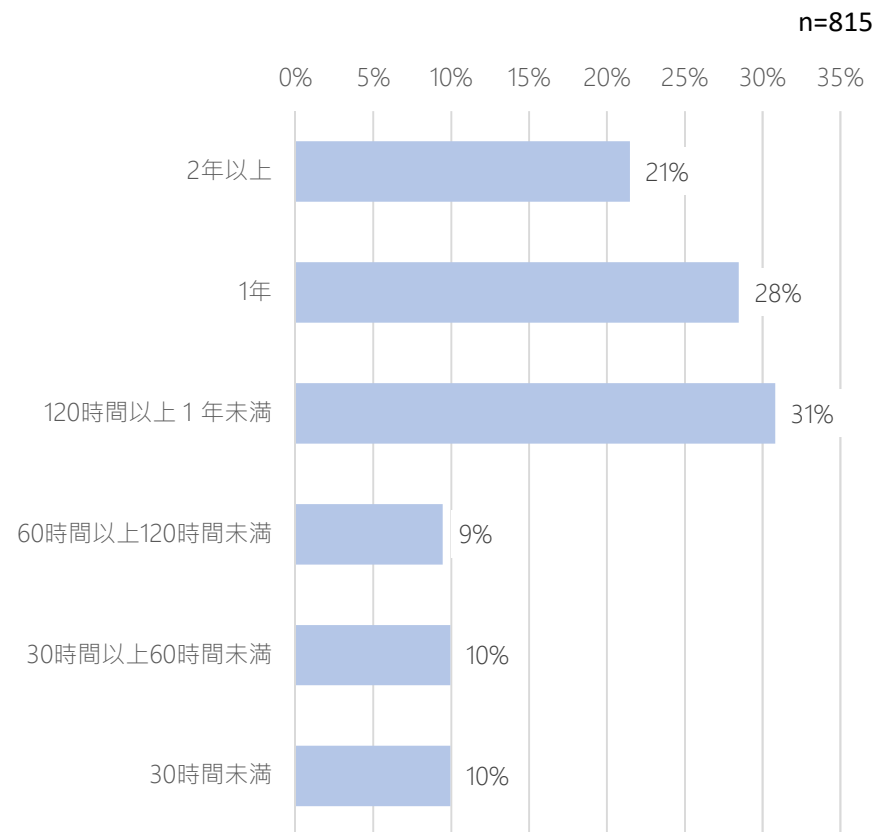
【III-2】学んでいる（学んでいた）分野・講座の期間

問4-1 あなたが学んでいる（学んでいた）分野を教えてください。



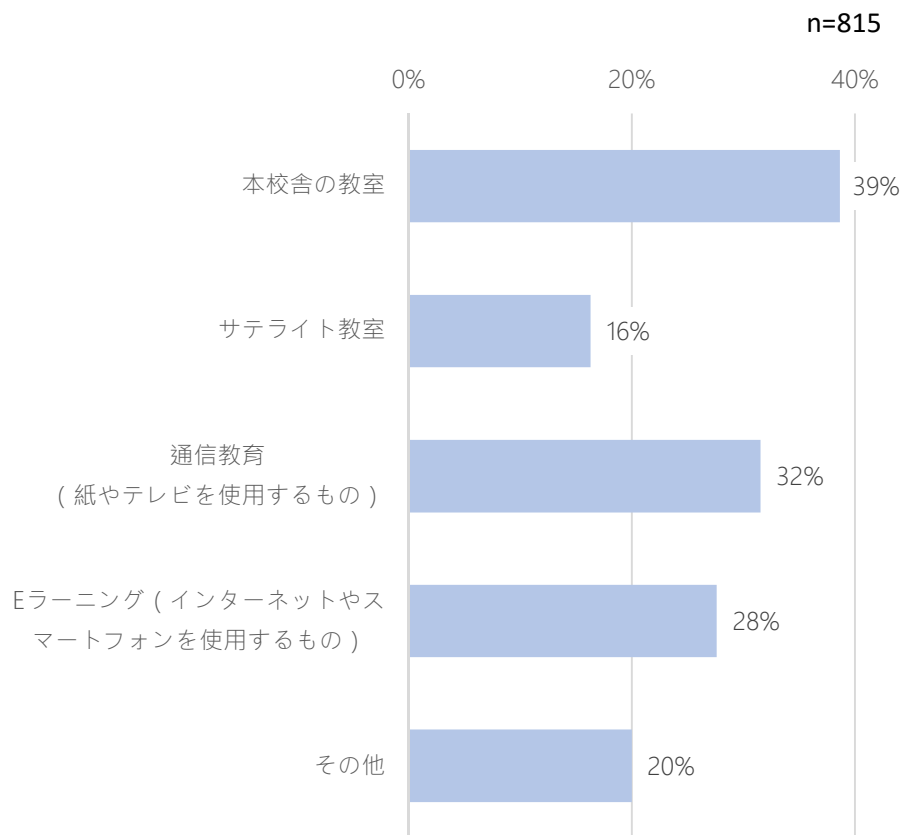
注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問4-2 あなたが学んでいる（学んでいた）講座の期間を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

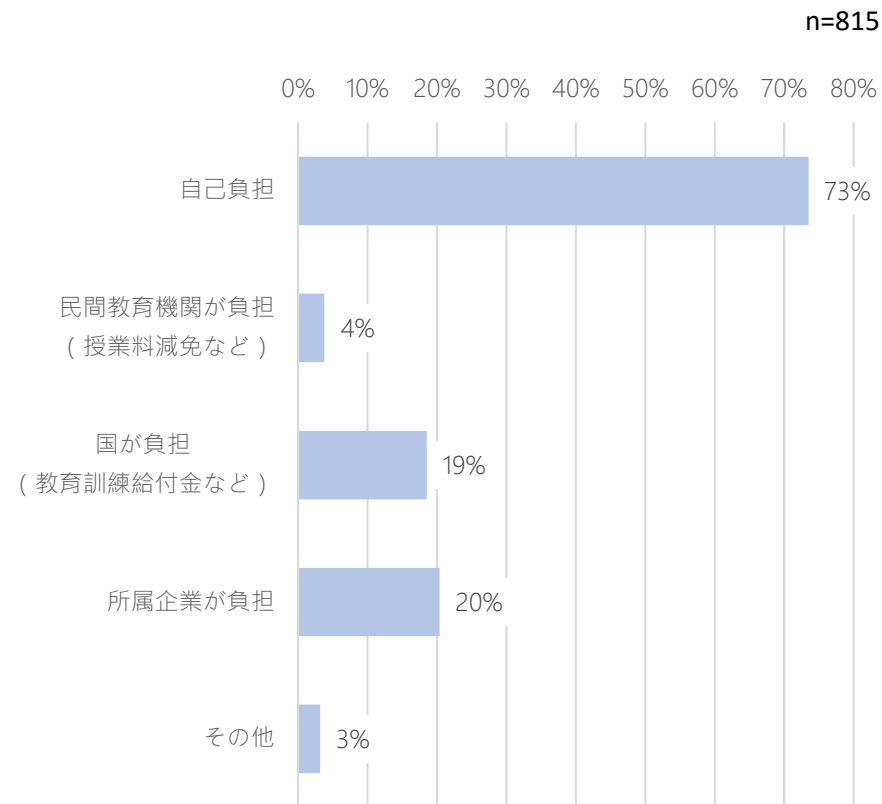
問4-3 あなたが学んでいる（学んでいた）環境を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問4-4 授業料の負担者について、当てはまるものを全て教えてください。

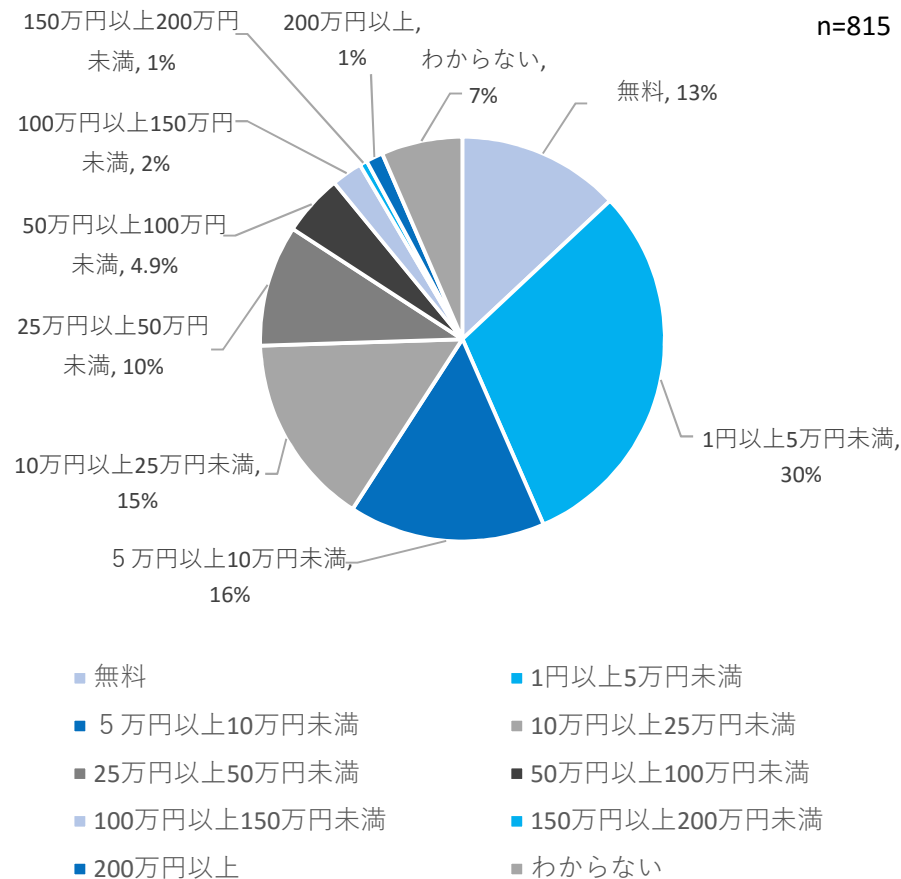
※なお、全部または一部など複数の組み合わせによる支払を行っている場合は、全て選択してください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

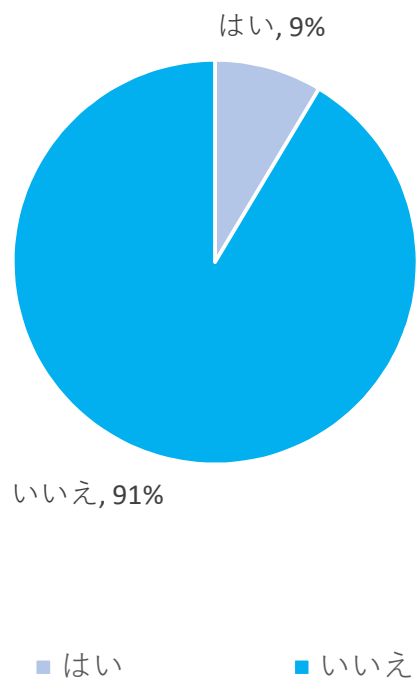
問4-5 あなたが学んでいる（学んでいた）講座の入学金や授業料に相当する総額を教えてください。

（奨学金や教育訓練給付等費用援助を受けた金額を差し引くものではありません。）



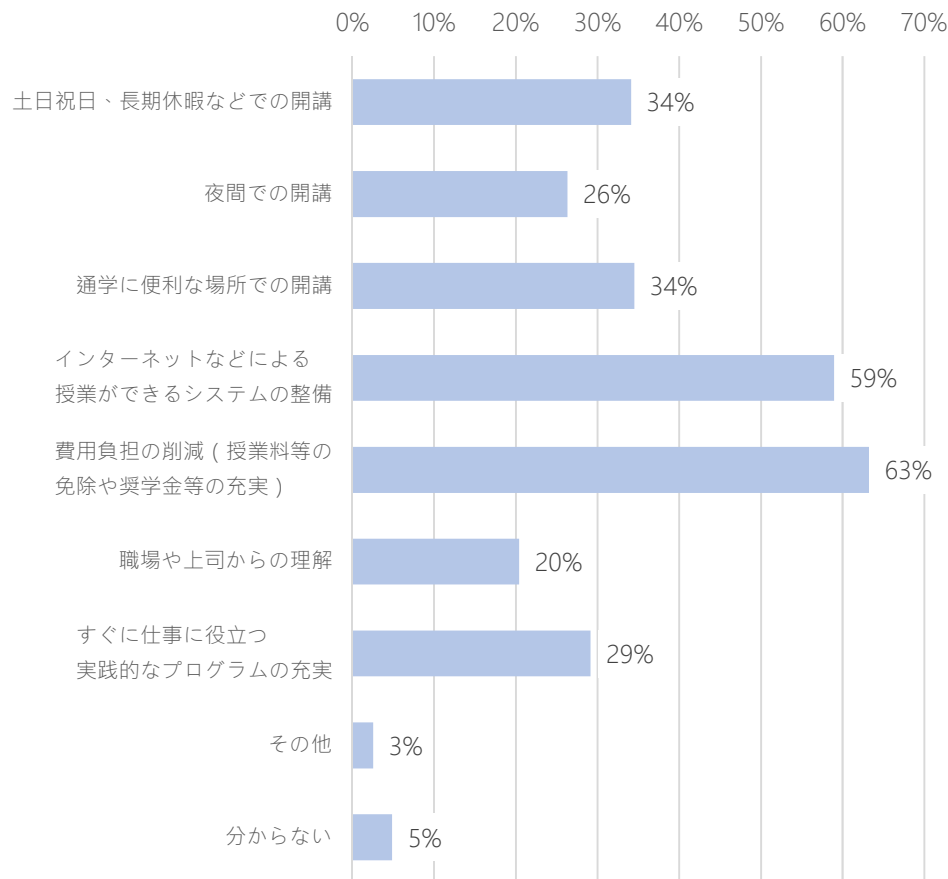
問5-1 これまでに大学等に該当するものでの学び直しを行ったことがありますか。

n=815



問5-2 どのような改善があれば、大学での学び直しを行いたいと考えますか。

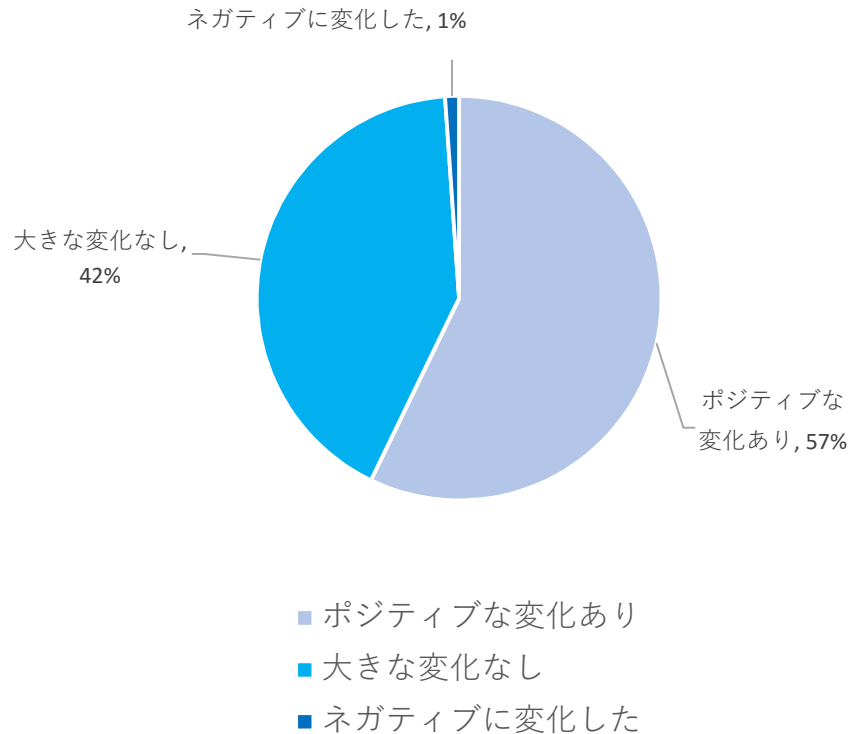
n=745



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

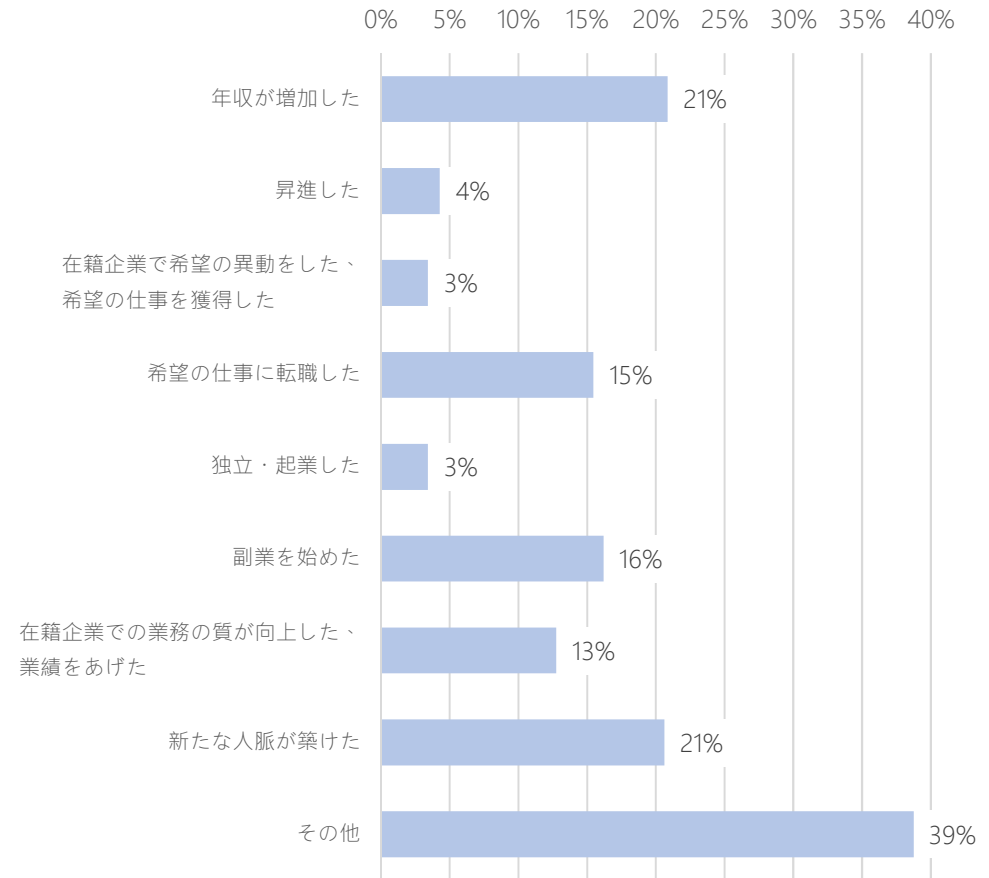
問6-1 学び直しを行った後、処遇・キャリア上の変化はありましたか。

n=815



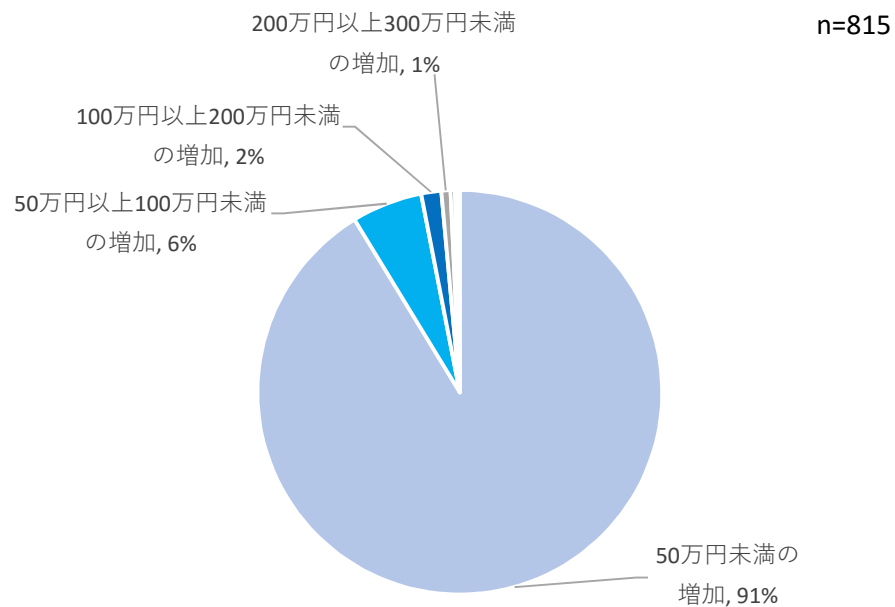
問6-2 具体的にはどのような変化がございましたか。
(当てはまるもの全てに御回答ください)

n=815



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

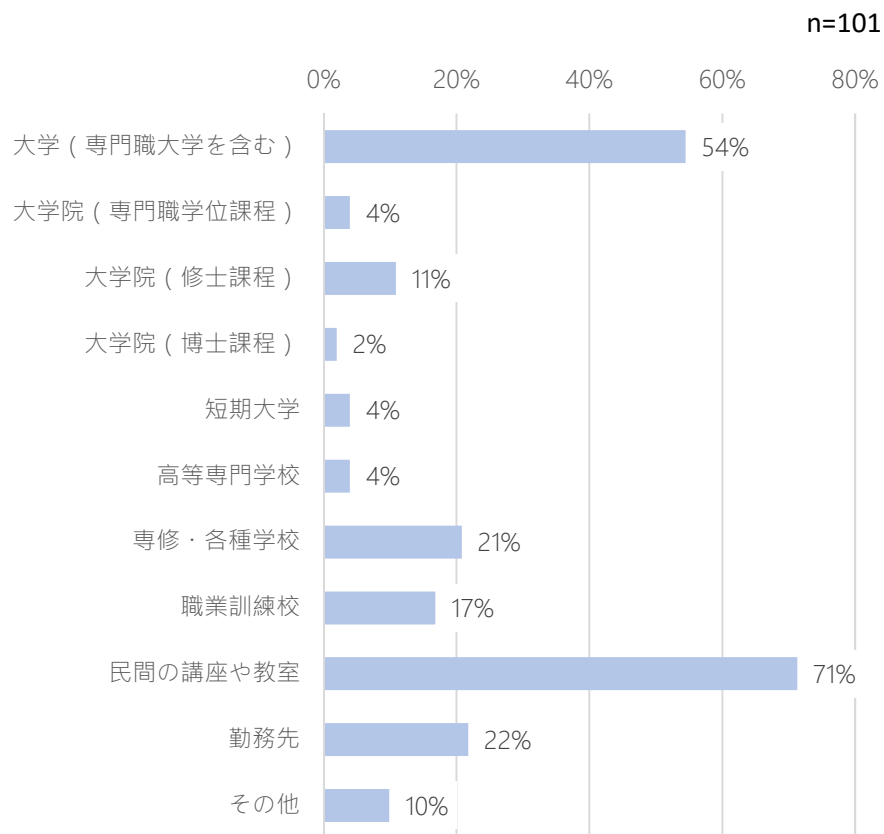
問6-3 学び直しを実施したことで、どの程度年収に変化がありましたか。



- 50万円未満の増加
- 50万円以上100万円未満の増加
- 100万円以上200万円未満の増加
- 200万円以上300万円未満の増加
- 300万円以上400万円未満の増加
- 400万円以上500万円未満の増加
- 500万円以上の増加

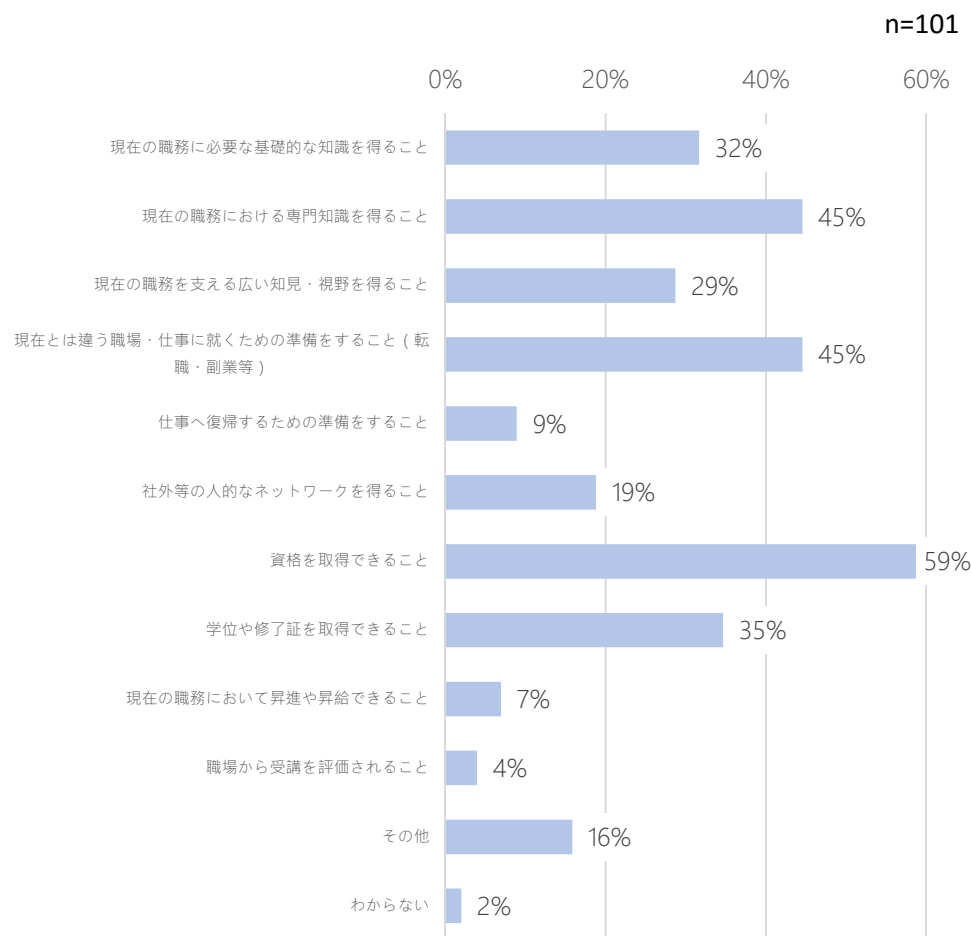
IV 調査結果（対象：大学等及び民間・勤務先・職業訓練校等の両方で学んでいる回答者）

問3-3 あなたが学んでいる（学んでいた）機関等について教えてください。（聴講生、公開講座の受講生も対象に含みます。）



注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

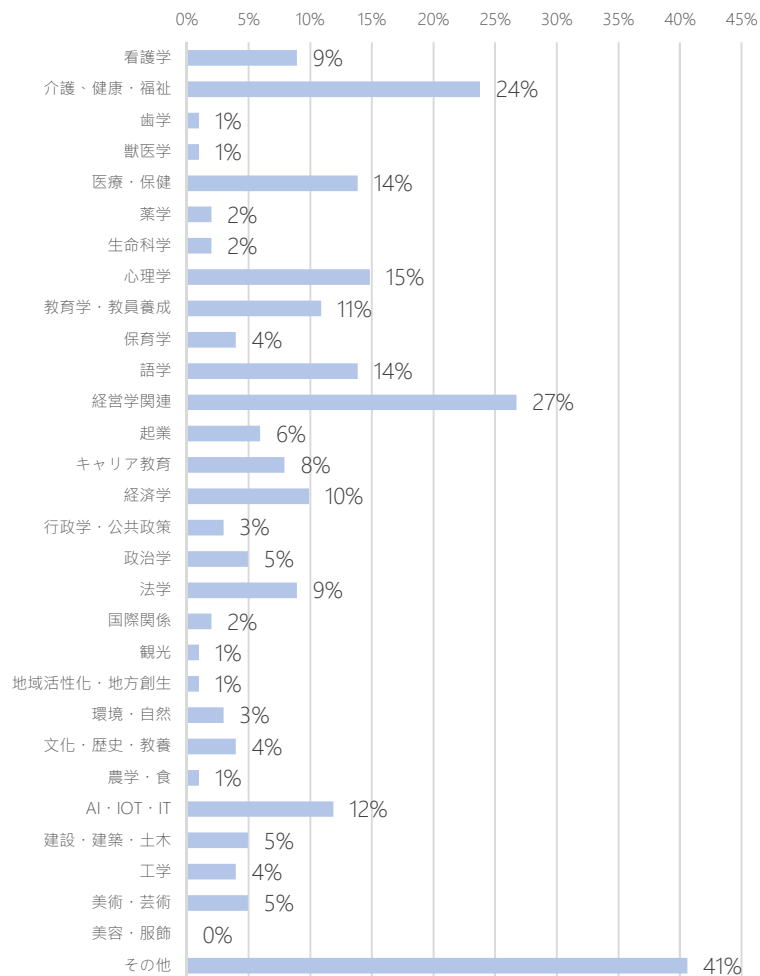
問3-4 どのような目的で学び直しを行っている（いた）か教えてください。（優先順位の高い順に3つ選択してください）



注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-5 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野を教えてください。

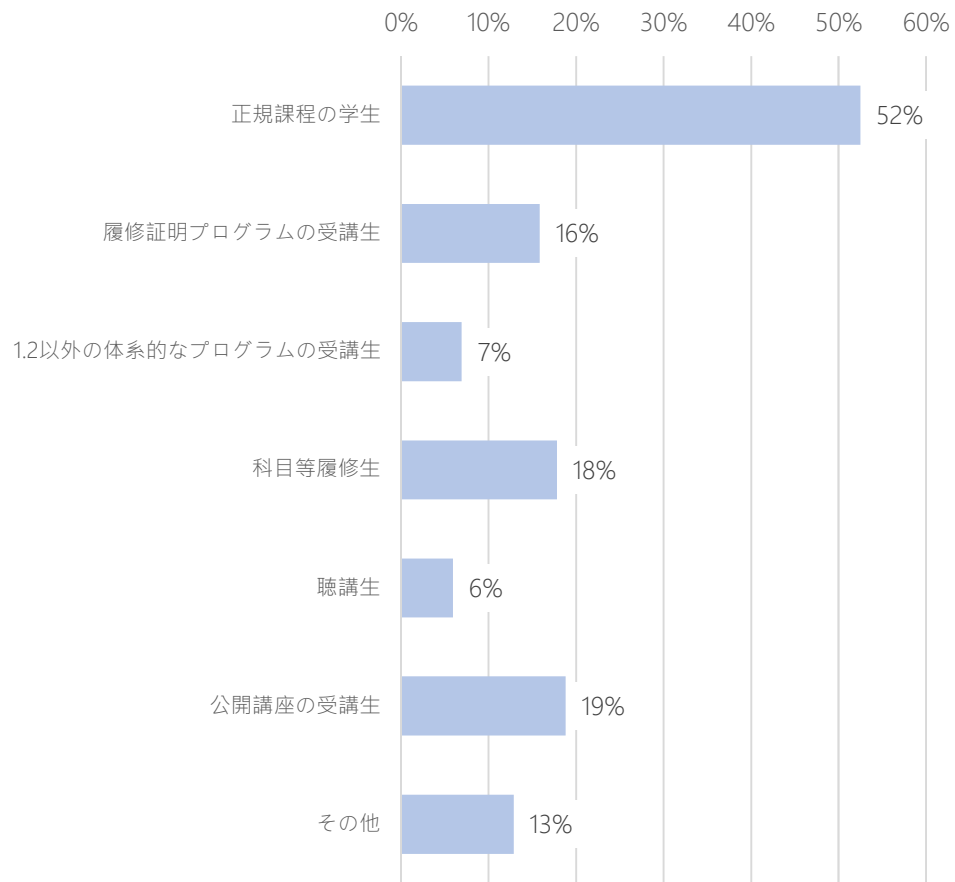
n=101



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-6 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等での履修形態を教えてください。

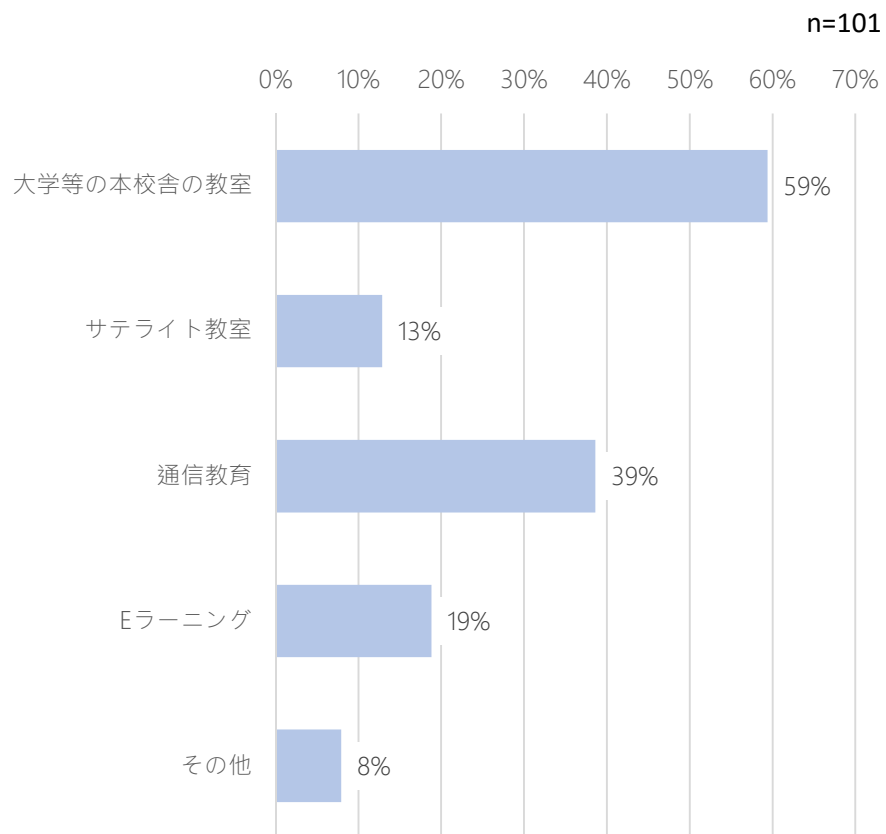
n=101



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

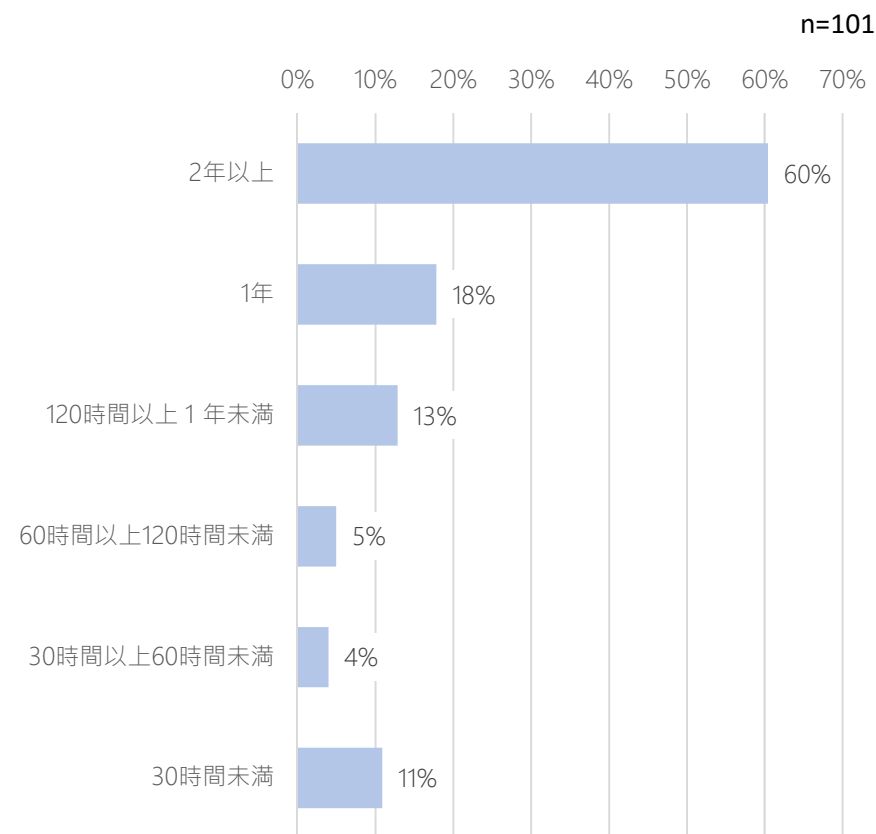
【IV-3】学んでいる（学んでいた）環境・授業の総時間数

問3-7 あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の環境を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問3-8 あなたが学んでいる（学んでいた）授業の総時間数（期間）を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

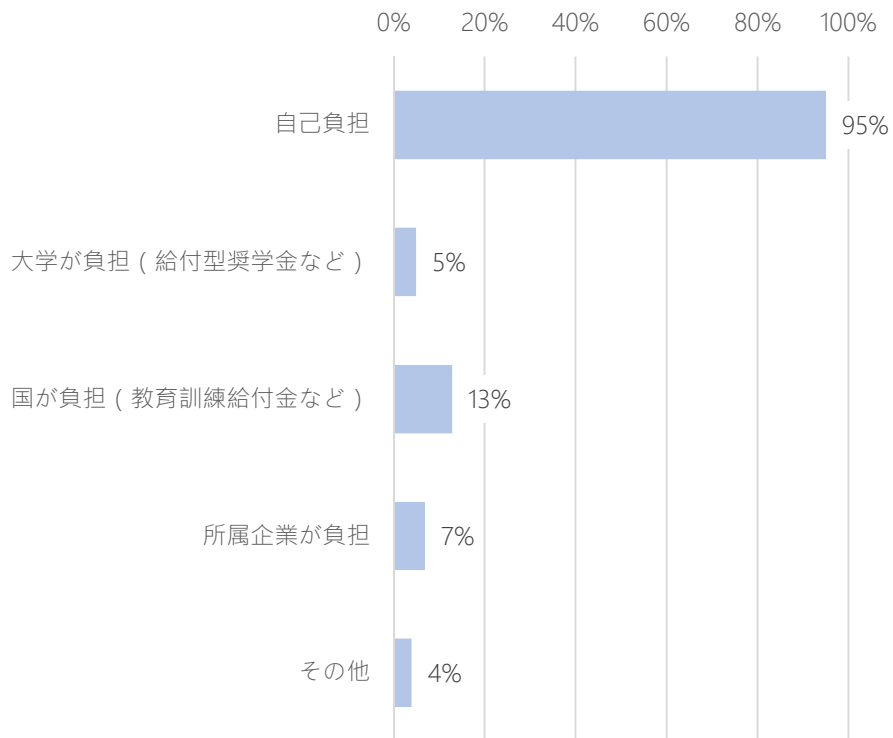
【IV-4】学んでいる（学んでいた）授業料の負担者・費用総額

問3-9

あなたが学んでいる（学んでいた）授業料の負担者について、当てはまるものを全て教えてください。

※なお、全部または一部など複数の組み合わせによる支払を行っている場合は、全て選択してください。

n=101



注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

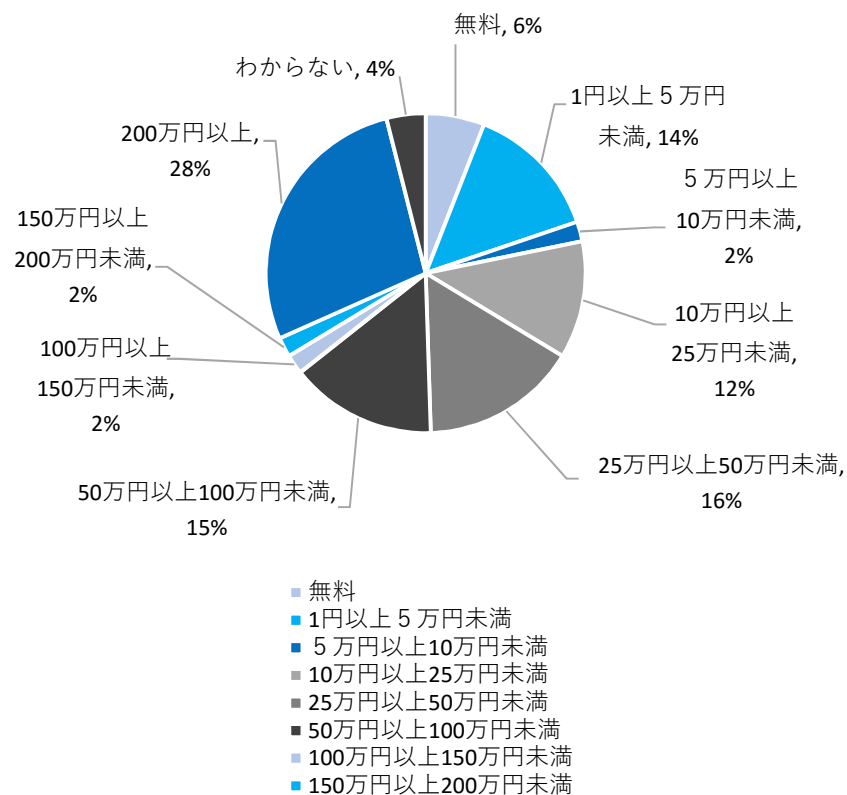
問3-10

あなたが学んでいる（学んでいた）大学等の入学金や授業料に相当する総額を教えてください。

（コースに入学してから終了するまでに必要な費用の総額をお答えください。奨学金や給付金等費用援助を受けた金額を差し引くものではありません。）

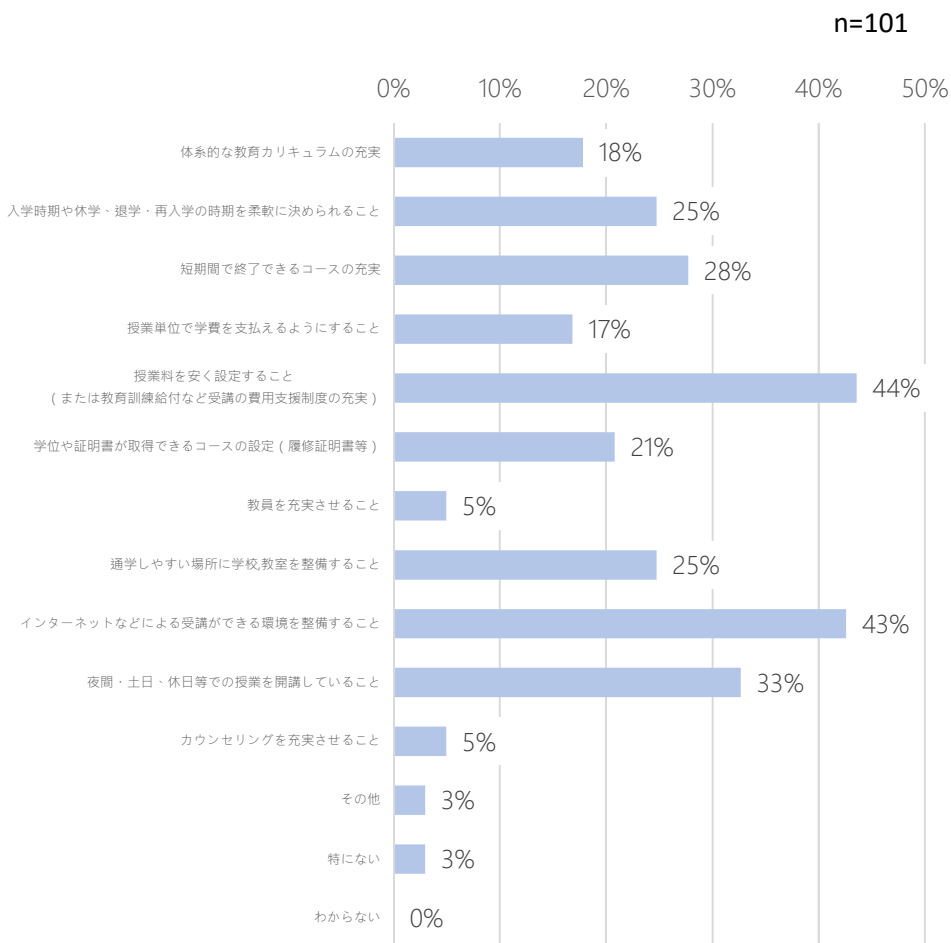
※大学等で複数回学んでいた場合は、1講座に必要な総額のうち最も高額なものをご記入ください。

n=101



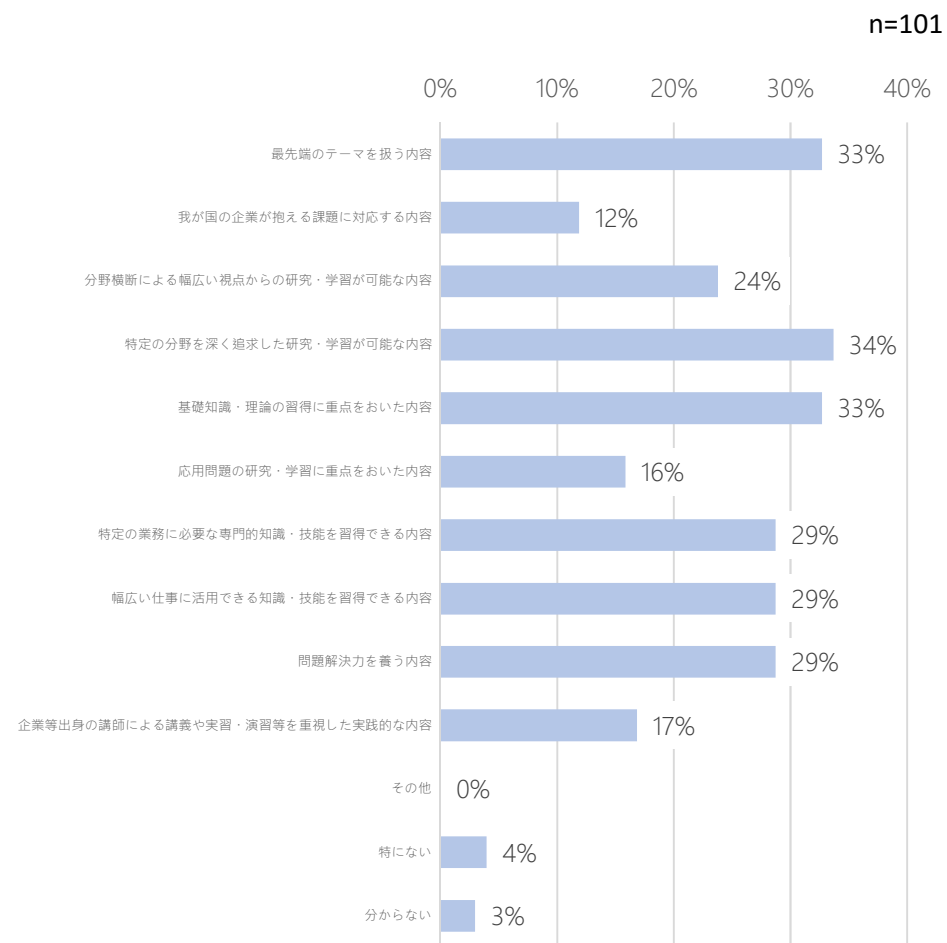
【IV-5】 重視してほしいこと（教育環境面・カリキュラム）

問4-1 大学等で学び直しを行うにあたって、教育環境面で特に重視してほしいことは次のうちどれですか。（3つまで選択してください）



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

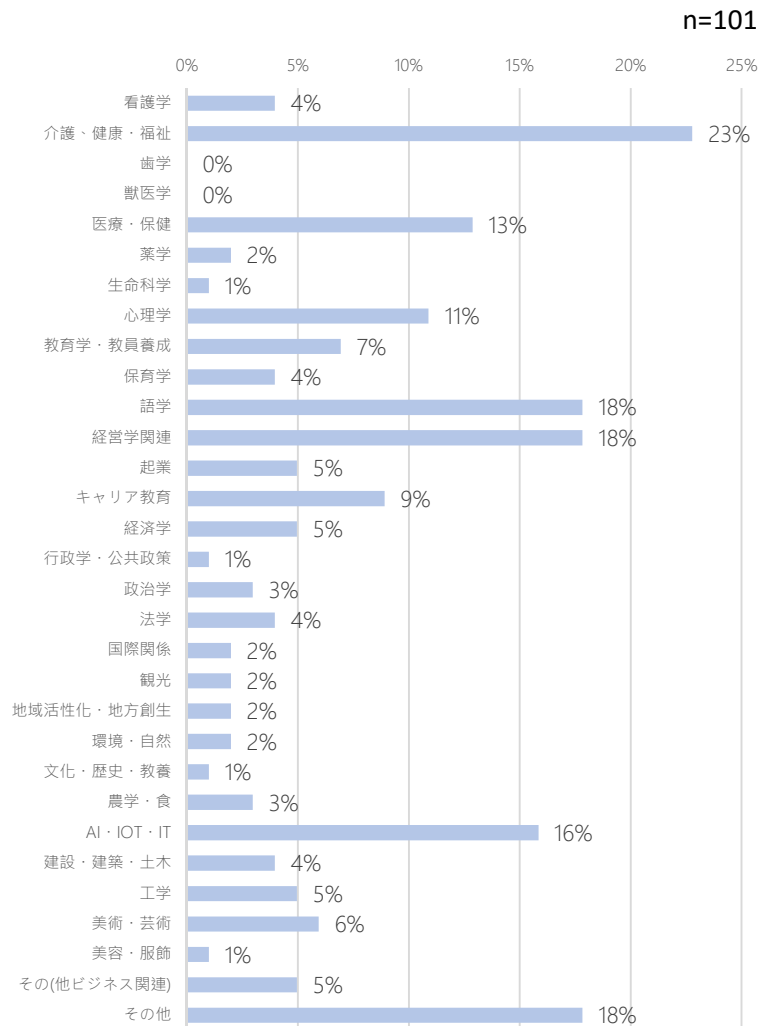
問4-2 あなたが、大学等のカリキュラムとして特に重視してほしい内容は次のうちどれですか。（3つまで選択してください）



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

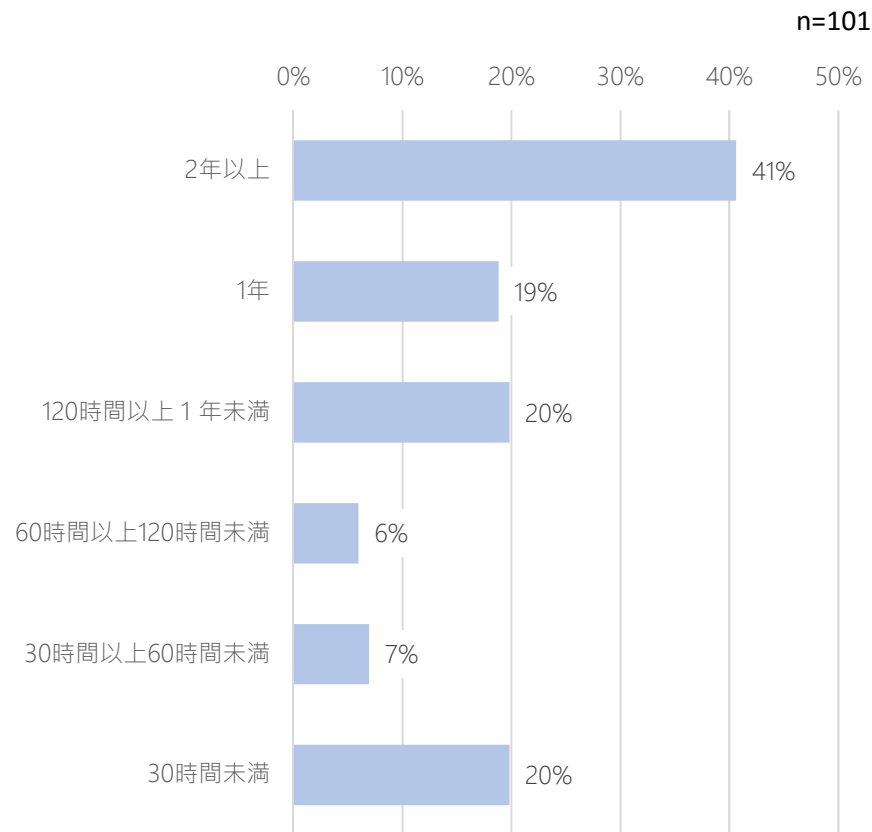
【IV-6】学んでいる（学んでいた）分野・講座の期間

問5-1 あなたが学んでいる（学んでいた）分野を教えてください。



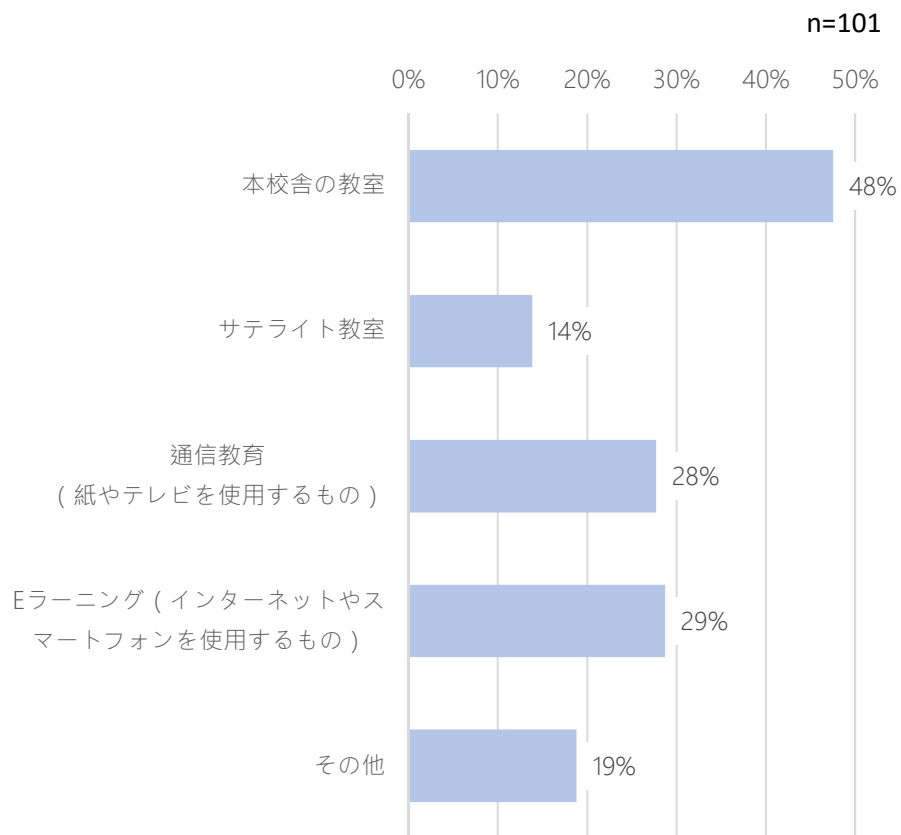
注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問5-2 あなたが学んでいる（学んでいた）講座の期間を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

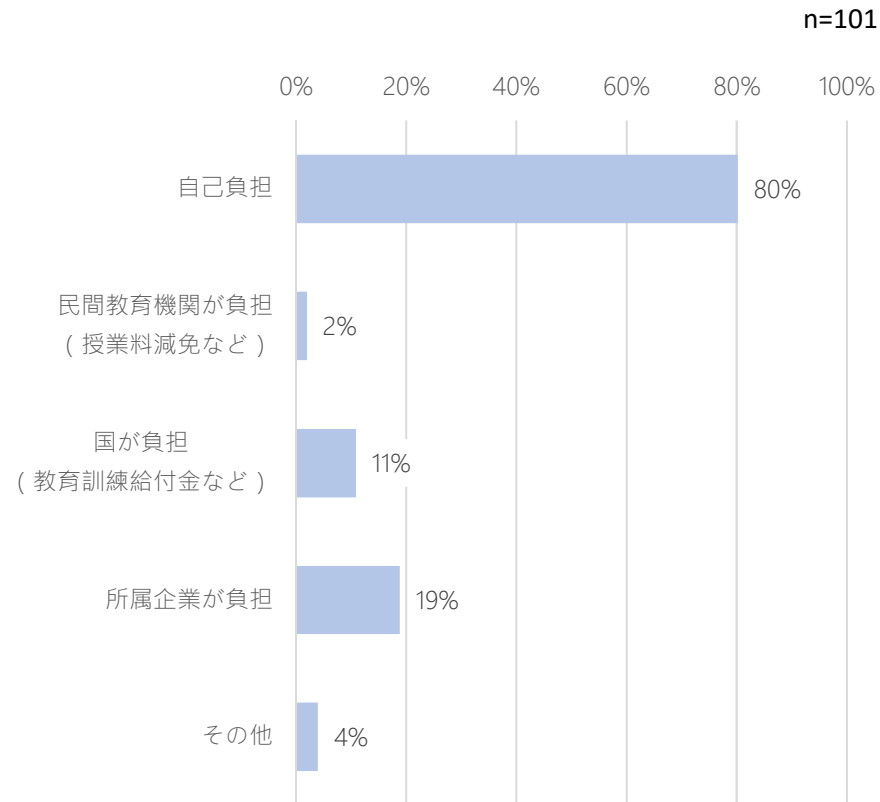
問5-3 あなたが学んでいる（学んでいた）環境を教えてください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問5-4 授業料の負担者について、当てはまるものを全て教えてください。

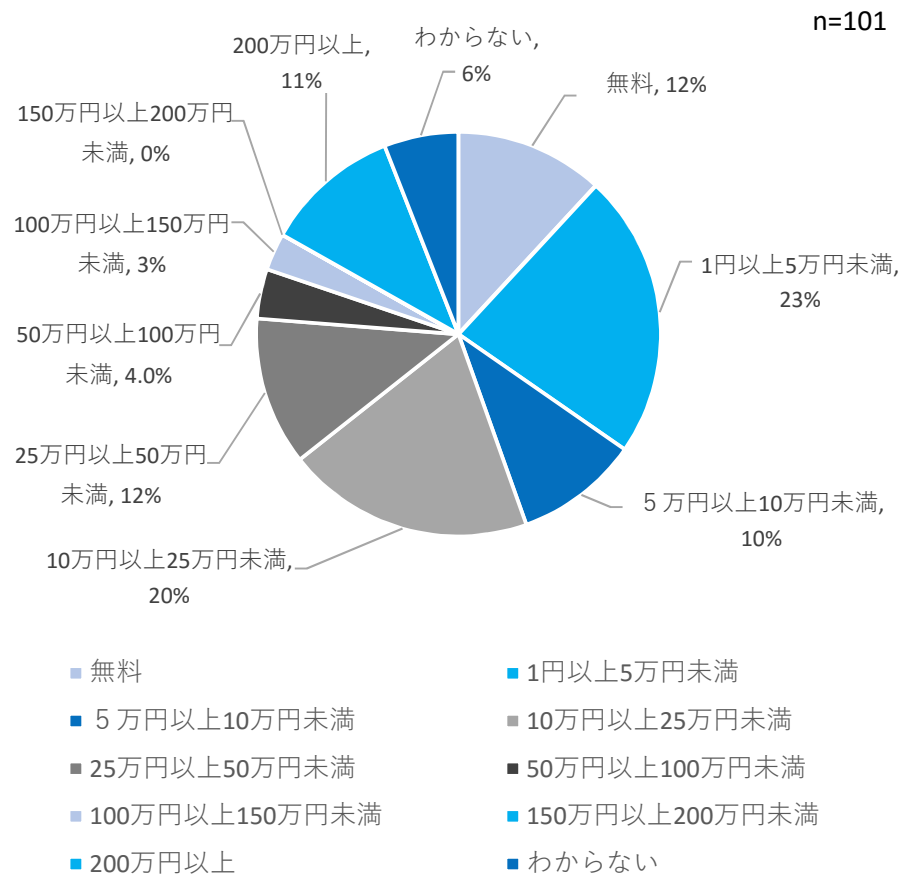
※なお、全部または一部など複数の組み合わせによる支払を行っている場合は、全て選択してください。



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

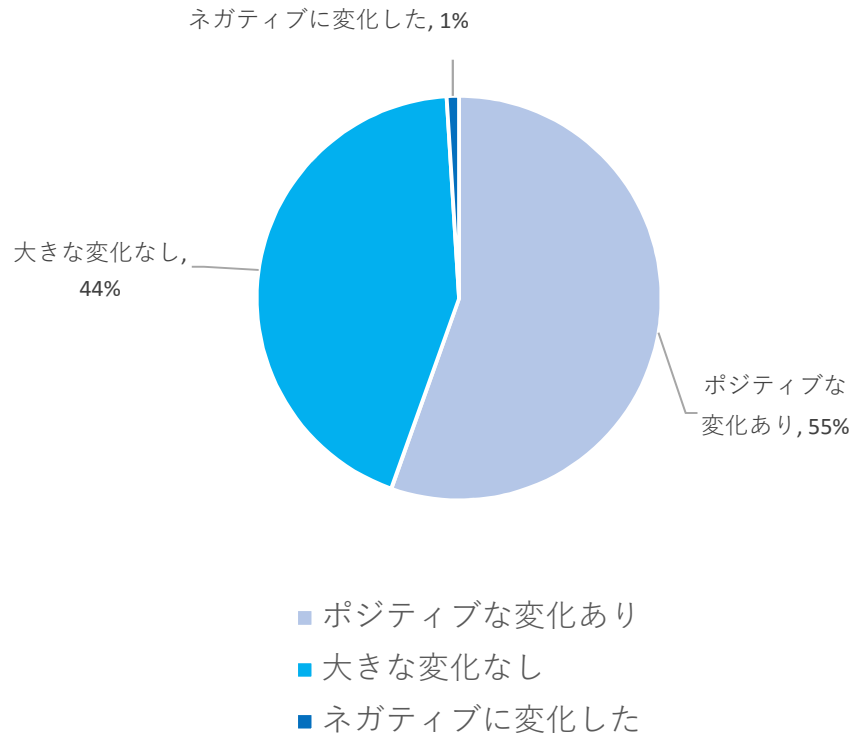
問5-5 あなたが学んでいる（学んでいた）講座の入学金や授業料に相当する総額を教えてください。

（奨学金や教育訓練給付等費用援助を受けた金額を差し引くものではありません。）



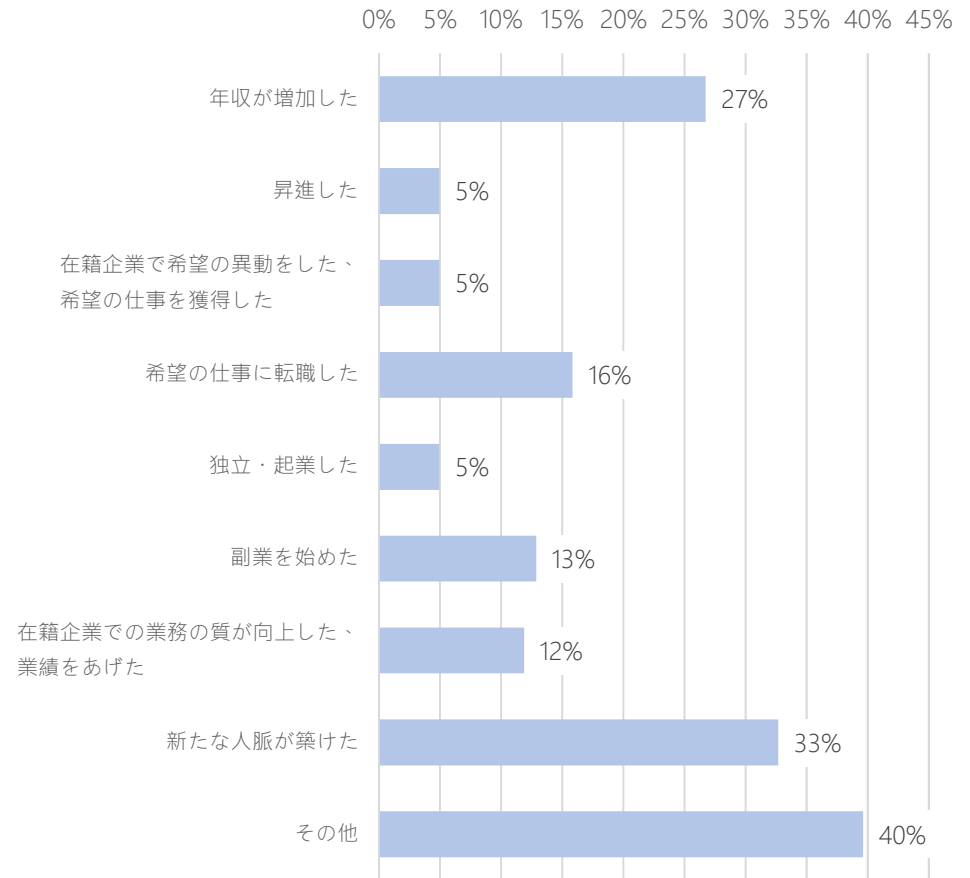
問6-1 学び直しを行った後、処遇・キャリア上の変化はありましたか。

n=101



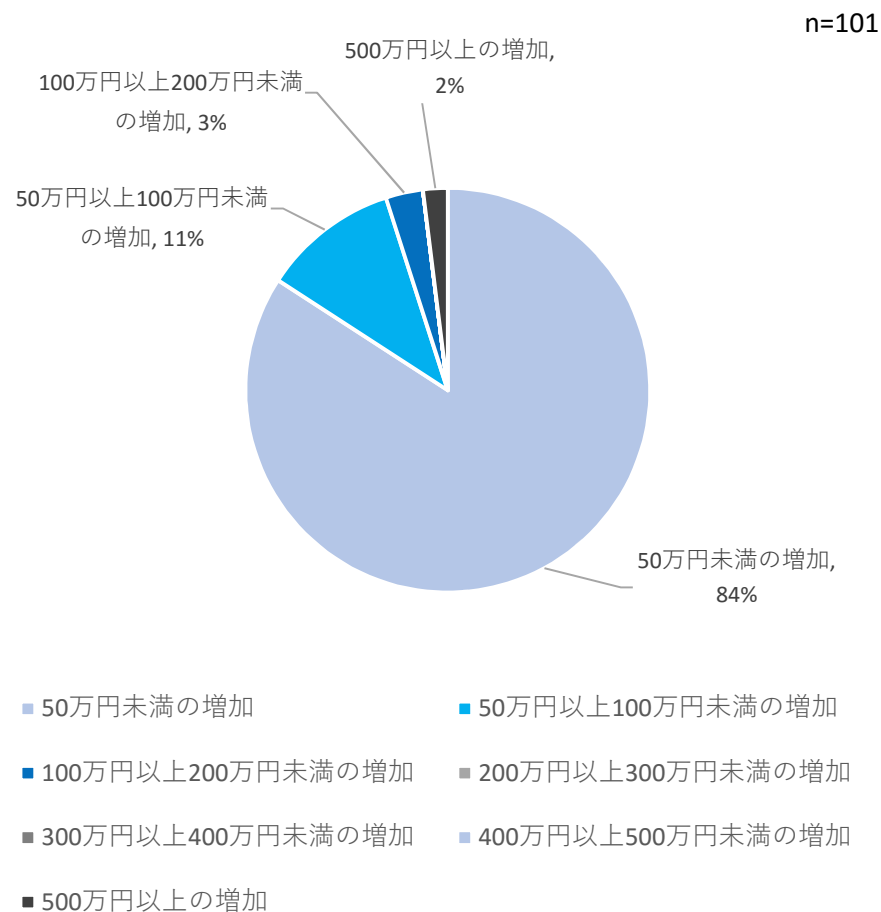
問6-2 具体的にはどのような変化がございましたか。(当てはまるもの全てに御回答ください)

n=101



注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

問6-3	学び直しを実施したことで、どの程度年収に変化がありましたか。
------	--------------------------------



V 分析結果 (クロス集計)

大学等における学び直しの実施の有無や阻害要因、大学等の教育機関に求める教育内容・方法などについて社会人に対するアンケート調査を行ったところ、**学び直しの実施の有無については回答者の現在の年収との関連性がみられた**。年収が上がるにつれて「学び直しの経験有り」の比率が増加し、「経験なしだが予定・興味あり」の比率が減少する傾向であった。

学び直しの目的については、役職と関連する目的もあった。役職が上がるにつれて、「専門知識を得る」「広い知見・視野」の比率が増加し、「違う職場・仕事に就く」「資格の取得」の比率が減少した。

学び直しの分野については、就業状況にある回答者は、**各業種の自身の業務に近い分野を中心に学んでいる**傾向がみられた。業務の知識をベースとして学び直しを実施している、と推測される。

回答者が学び直しを実施している機関や分野は様々であるが、**機関や分野によって、処遇・キャリア上に起きるポジティブな変化に差異もあった**。たとえば、大学院（修士課程）での学び直しは昇進や異動・人脈づくりとポジティブな変化への影響が多く、転職には専修・各種学校や職業訓練校といった専門的な機関での学び直しが強い結果となっていた。また、昇進や業務/業績に影響しやすい分野は介護/心理学/経営学など業務に近い分野を学んでいるケースであった。

		問3-1：現在の年収	問3-1：現在・過去の学び直し経験		
			ある	ない (今後学び直しを行う予定・ 学び直しを行うことに興味はある)	ない (学び直しを行いたいと思わない)
問2-6：現在の年収	300万円未満	2,204 100.0%	714 32.4%	1,129 51.2%	361 16.4%
	300万円以上 500万円未満	1,445 100.0%	504 34.9%	737 51.0%	204 14.1%
	500万円以上 800万円未満	506 100.0%	180 35.6%	243 48.0%	83 16.4%
	800万円以上 1,000万円未満	92 100.0%	37 40.2%	39 42.4%	16 17.4%
	1,000万円以上 1,500万円未満	29 100.0%	9 31.0%	14 48.3%	6 20.7%
	1,500万円以上	2 100.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%

- 年収1000万円以上は回答者数が少ないので考慮外とすると、
 - 学び直し経験「ある」：
 - 年収が上がるにつれて、約32%（300万円未満）
 - 約40%（800万円以上1,000万円未満）まで増加する
 - 学び直し経験「ない（予定・興味ある）」：
 - 年収が上がるにつれて、約51%（300万円未満）
 - 約42%（800万円以上1,000万円未満）まで減少する
 - 学び直し経験「ない（行わない）」：
 - 年収に応じた変化はなし

【V-3】学んでいる（学んでいた）機関×処遇・キャリア上のポジティブな変化

		問5-2/6-2：処遇・キャリア上のポジティブな変化									
		回答者数	年収が増加した	昇進した	獲得した 在籍企業で希望の異動をした、希望の仕事を	希望の仕事に転職した	独立・起業した	副業を始めた	が向上した、業績をあげた	在籍企業での業務の質	新たな人脈が築けた
全体		1,200 100.0%	249 20.8%	53 4.4%	46 3.8%	201 16.8%	42 3.5%	191 15.9%	139 11.6%	268 22.3%	466 38.8%
問3-3.学んでいる（学んでいた）機関	大学（専門職大学を含む）	210 100.0%	40 19.0%	11 5.2%	4 1.9%	37 17.6%	10 4.8%	30 14.3%	19 9.0%	45 21.4%	86 41.0%
	大学院（専門職学位課程）	16 100.0%	3 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	2 12.5%	3 18.8%	2 12.5%	7 43.8%	5 31.3%
	大学院（修士課程）	44 100.0%	11 25.0%	5 11.4%	6 13.6%	8 18.2%	3 6.8%	5 11.4%	6 13.6%	16 36.4%	12 27.3%
	大学院（博士課程）	9 100.0%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%	3 33.3%	4 44.4%
	短期大学	20 100.0%	3 15.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 20.0%	0 0.0%	3 15.0%	2 10.0%	5 25.0%	10 50.0%
	高等専門学校	13 100.0%	1 7.7%	0 0.0%	1 7.7%	3 23.1%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	5 38.5%	8 61.5%
	専修・各種学校	88 100.0%	24 27.3%	2 2.3%	7 8.0%	28 31.8%	1 1.1%	17 19.3%	6 6.8%	29 33.0%	30 34.1%
	職業訓練校	149 100.0%	26 17.4%	4 2.7%	5 3.4%	51 34.2%	7 4.7%	20 13.4%	16 10.7%	35 23.5%	53 35.6%
	民間の講座や教室	678 100.0%	153 22.6%	26 3.8%	25 3.7%	103 15.2%	30 4.4%	117 17.3%	90 13.3%	148 21.8%	266 39.2%
	勤務先	187 100.0%	44 23.5%	16 8.6%	8 4.3%	21 11.2%	5 2.7%	26 13.9%	36 19.3%	42 22.5%	71 38.0%
	その他	93 100.0%	18 19.4%	2 2.2%	4 4.3%	9 9.7%	1 1.1%	15 16.1%	10 10.8%	17 18.3%	46 49.5%

注）複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

回答者数が40未満

機関での回答率が全体での回答率より50%以上高い

機関での回答率が全体での回答率より50%以上低い

■ 回答者数が少ない機関を考慮外とすると、

- ▶ 大学（専門職大学を含む）：
異動/仕事の獲得にあまり影響しない
- ▶ 大学院（修士課程）：
ポジティブな変化が多く、
昇進・異動・独立・人脈に影響する
- ▶ 専修・各種学校：
異動・仕事の獲得・転職に影響するが、
独立にはあまり影響しない
- ▶ 職業訓練校：
転職に強く影響する
- ▶ 勤務先：
昇進・業務の質向上/業績向上に影響する

【V-4】①学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野×処遇・キャリア上のポジティブな変化

		問5-2/6-2：処遇・キャリア上のポジティブな変化									
		年収が増加した	昇進した	在籍企業で希望の仕事を得た	希望の仕事に転職した	独立・起業した	副業を始めた	在籍企業での業務の質が向上した、業績をあげた	新たな人脈が築けた	その他	
全体	385	79	18	18	75	14	59	35	100	150	
問3-5：学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野	看護学	29	11	2	3	7	0	4	4	6	10
	介護・健康・福祉	62	25	5	4	22	1	7	6	18	24
	歯学	4	2	0	0	2	0	1	0	2	1
	獣医学	3	0	0	0	0	0	1	0	2	2
	医療・保健	30	11	1	2	7	0	4	2	12	12
	薬学	7	2	0	0	0	0	0	1	1	3
	生命科学	6	0	0	0	0	0	0	0	3	3
	心理学	39	7	3	1	6	0	7	1	4	21
	教育学・教員養成	59	6	2	2	14	1	10	8	13	24
	保育学	14	1	1	2	7	0	1	2	3	4
	語学	53	13	0	1	7	1	8	6	12	24
	経営学関連	62	18	3	2	4	5	13	12	22	21
	起業	12	4	0	0	0	4	2	2	5	5
	キャリア教育	14	2	1	0	5	1	2	1	2	3
	経済学	30	5	1	0	3	3	7	2	8	10
	行政学・公共政策	9	0	2	3	2	0	1	0	4	3
	政治学	9	2	0	0	0	1	3	0	3	4
	法学	21	4	0	1	0	1	7	2	9	8
	国際関係	6	2	0	0	0	0	4	0	1	2
	観光	8	2	0	0	2	0	3	1	4	1
地域活性化・地方創生	7	0	0	0	1	0	1	1	2	3	
環境・自然	8	2	0	1	1	0	3	0	2	4	
文化・歴史・教養	20	3	0	0	0	1	2	1	4	12	
農学・食	10	1	0	0	3	0	2	1	2	5	
AI・IOT・IT	34	6	0	2	4	5	10	2	9	13	
建設・建築・土木	14	4	0	0	4	1	3	1	2	5	
工学	10	3	1	0	2	0	0	1	5	2	
美術・芸術	28	4	0	2	7	2	7	2	10	11	
美容・服飾	3	2	0	0	0	1	2	0	0	2	
その他	102	23	3	4	9	5	21	14	27	46	

専攻分野での回答率が全体での回答率より50%以上高い
(回答者数が40以上のみ対象)

専攻分野での回答率が全体での回答率より50%以上低い
(回答者数が40以上のみ対象)

- 回答者数が一定数ある専攻分野をみると、
 - 介護・健康・福祉：
年収増加・昇進・転職に影響するが、
独立には影響が少ない
 - 教育学・教員養成：
年収増加・独立に影響しない
 - 語学：
昇進・異動/仕事の獲得に影響しない
 - 経営学：
独立・業務の質向上/業績向上に影響するが、
転職には影響しない

【V-4】②学んでいる（学んでいた）分野×処遇・キャリア上のポジティブな変化

	回答者数	問5-2/6-2：処遇・キャリア上のポジティブな変化								
		年収が増加した	昇進した	在籍企業で希望の仕事を獲得した	希望の仕事に転職した	独立・起業した	副業を始めた	在籍企業での業務の質が向上した、業績をあげた	新たな人脈が築けた	その他
全体	916	197	40	33	142	33	145	116	201	356
看護学	35	10	1	1	4	1	5	5	3	15
介護・健康・福祉	130	40	16	6	25	3	6	17	31	43
歯学	6	3	0	0	1	0	0	0	3	2
獣医学	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
医療・保健	66	13	2	2	14	4	9	10	12	24
薬学	18	4	0	1	4	0	2	2	5	5
生命科学	3	1	0	0	0	0	1	0	2	1
心理学	74	18	4	3	5	3	16	15	26	25
教育学・教員養成	47	11	5	2	8	3	7	7	17	11
保育学	21	4	2	1	5	0	5	3	12	5
語学	197	47	3	7	31	6	33	26	54	79
経営学関連	93	25	6	7	12	6	15	21	25	34
起業	44	7	0	1	3	12	20	5	16	8
キャリア教育	79	20	7	6	15	2	21	14	22	25
経済学	24	6	1	3	1	1	7	5	5	8
行政学・公共政策	11	0	1	0	1	1	1	1	2	7
政治学	10	3	1	0	2	0	4	1	1	6
法学	42	8	3	1	4	4	7	7	4	22
国際関係	4	2	0	0	1	0	1	0	2	2
観光	22	2	2	1	8	0	3	3	6	7
地域活性化・地方創生	12	2	0	2	0	1	2	3	4	4
環境・自然	15	5	0	1	0	0	4	3	2	7
文化・歴史・教養	21	2	0	2	5	0	3	4	8	8
農学・食	23	3	0	1	2	0	3	3	6	12
AI・IOT・IT	215	36	5	8	38	7	56	30	47	81
建設・建築・土木	65	15	2	5	8	0	9	11	13	26
工学	34	7	1	2	2	1	4	12	9	10
美術・芸術	48	7	0	1	8	4	17	5	11	14
美容・服飾	26	9	1	0	8	4	8	1	4	9
その他(ビジネス関連)	85	21	3	1	18	3	19	17	17	29
その他	216	39	5	7	31	6	32	29	34	110

問4-1：学んでいる（学んでいた）分野

専攻分野での回答率が全体での回答率より50%以上高い
(回答者数が40以上のみ対象)

専攻分野での回答率が全体での回答率より50%以上低い
(回答者数が40以上のみ対象)

■ 回答者数が一定数ある分野をみると、 分野によって影響する変化が異なる

	他分野より	
	回答率が高い	回答率が低い
昇進	介護・教育学、 キャリア教育、 法学	語学、起業、 美術・芸術
異動・ 仕事の獲得	経営学、キャリア 教育、建設・建 築・土木	その他(ビジネス 関連)
転職	-	心理学、起業
独立・企業	医療・保険、教育 学、経営学、起業、 法学、美術・芸術	建設・建築・土木
副業	起業、キャリア教育、 AI・IOT・IT、 美術・芸術	介護
業務の質・ 業績の向上	心理学、経営学、 その他(ビジネス 関連)	-
人脈	心理学、教育学、 起業	法学

【V-5】現在の役職×学び直しの目的

		回答者数	問3-4：学び直しの目的											
			現在の職務に必要な基礎的な知識を得ること	現在の職務における専門知識を得ること	現在の職務を支える広い知見・視野を得ること	現在とは違う職場・仕事に就くための準備をすること（転職・副業等）	仕事へ復帰するための準備をすること	社外等の人的なネットワークを得ること	資格を取得できること	学位や修了証を取得できること	現在の職務において昇進や昇給できること	現在の職務において評価されること	その他	わからない
全体		1,002	438	476	430	432	97	162	539	140	86	67	134	5
		100.0%	43.7%	47.5%	42.9%	43.1%	9.7%	16.2%	53.8%	14.0%	8.6%	6.7%	13.4%	0.5%
問2,3：現在の役職	一般社員・職員	606	275	285	246	274	54	91	339	81	50	45	75	3
		100.0%	45.4%	47.0%	40.6%	45.2%	8.9%	15.0%	55.9%	13.4%	8.3%	7.4%	12.4%	0.5%
	係長・主任級	81	41	43	46	26	3	8	39	9	15	6	6	1
		100.0%	50.6%	53.1%	56.8%	32.1%	3.7%	9.9%	48.1%	11.1%	18.5%	7.4%	7.4%	1.2%
	課長・部長級	38	16	21	23	13	0	8	16	3	4	8	2	0
		100.0%	42.1%	55.3%	60.5%	34.2%	0.0%	21.1%	42.1%	7.9%	10.5%	21.1%	5.3%	0.0%
役員・経営者	58	20	36	37	18	3	13	19	9	6	3	10	0	
	100.0%	34.5%	62.1%	63.8%	31.0%	5.2%	22.4%	32.8%	15.5%	10.3%	5.2%	17.2%	0.0%	
教職	16	6	9	11	5	1	3	9	3	0	0	1	0	
	100.0%	37.5%	56.3%	68.8%	31.3%	6.3%	18.8%	56.3%	18.8%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	
その他	203	80	82	67	96	36	39	117	35	11	5	40	1	
	100.0%	39.4%	40.4%	33.0%	47.3%	17.7%	19.2%	57.6%	17.2%	5.4%	2.5%	19.7%	0.5%	

注) 複数回答のため、各選択肢の回答の合計は100%を超える

回答者数が40未満

役職での回答率が全体での回答率より25%以上高い

役職での回答率が全体での回答率より25%以上低い

- 役職が上がるにつれて回答率が増える
学び直しの目的：
「専門知識を得る」「広い知見・視野」
- 役職が上がるにつれて回答率が減る
学び直しの目的：
「違う職場・仕事に就く」「資格の取得」
- 係長・主任級では、他の役職と比べて「人的ネットワーク」の回答率が低く、「昇進・昇給」の回答率が高かった

【V-6】①現在の業種×学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野

業種での回答率が
全体での回答率より
50%以上高い
(回答者数が40以上
のみ対象)

		問3-5：学んでいる（学んでいた）大学等の専攻分野																															
		看護学	介護・健康・福祉	歯学	獣医学	医療・保健	薬学	生命科学	心理学	教育学・教員養成	保育学	語学	経営学関連	起業	キャリア教育	経済学	行政学・公共政策	政治学	法学	国際関係	観光	地域活性化・地方創生	環境・自然	文化・歴史・教養	農学・食	A・O・T・I	建設・建築・土木	工学	美術・芸術	美容・服飾	その他		
全体		319	24	52	3	3	26	6	5	35	51	12	40	51	9	11	29	9	9	16	5	6	7	8	19	8	29	11	10	20	3	79	
問2-4：現在の業種	農林水産	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	
	鉱業・電気・ガス・水道・ その他のエネルギー	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	建設・土木・工事・ プラント	8	0	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	2	0	2	2	2	2	2	2	0	1	2	0	1	3	5	1	1	0	2	
	不動産	8	0	1	0	0	0	0	1	1	0	3	4	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6
	製造	26	0	1	0	0	0	1	1	1	0	3	7	1	3	5	1	0	1	0	0	0	0	2	3	1	2	1	4	0	0	10	
	運輸・倉庫	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	4	
	商業・卸売・小売	13	0	2	0	0	0	0	3	1	0	2	2	0	0	2	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	3	
	飲食店	8	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	0	1	1	
	金融・保険・投資・共済	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	4	0	0	2	0	1	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	4	
	通信・IT関連サービス	30	0	1	0	2	1	1	0	6	6	1	6	8	2	1	6	2	2	1	2	1	1	2	1	1	8	1	1	6	1	11	
	その他のサービス	50	1	5	0	0	1	0	0	4	7	3	10	10	4	1	2	1	2	4	1	2	2	1	4	1	5	0	3	8	1	16	
	新聞・出版・放送	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	
	保健・医療・福祉関連	67	17	32	1	0	16	3	2	9	4	4	2	2	0	0	3	0	0	1	0	0	2	1	2	1	1	0	0	0	0	3	
	学校・教育	35	0	2	0	0	2	0	1	3	22	3	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	0	0	0	4	
	研究開発・研究機関	7	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	政府・地方公共団体・ 各種法人・団体等	8	1	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	
	その他	36	5	4	1	0	2	1	0	2	5	1	5	2	1	1	5	0	1	1	0	0	1	0	4	0	3	2	1	2	0	8	

■ 回答者数が一定数ある業種
(その他のサービス、保健・
医療・福祉関連)をみると、
各業種の業務に近い分野を
大学等で専攻している傾向に
ある

【V-6】②現在の業種×学んでいる（学んでいた）分野

業種での回答率が
全体での回答率より
50%以上高い
(回答者数が40以上
のみ対象)

	回答者数	問4-1: 学んでいる (学んでいた) 分野																														
		看護学	介護・健康・福祉	歯学	獣医学	医療・保健	薬学	生命科学	心理学	教育学・教員養成	保育学	語学	経営学関連	起業	キャリア教育	経済学	行政学・公共政策	政治学	法学	国際関係	観光	地域活性化・地方創生	環境・自然	文化・歴史・教養	農学・食	AI・IOT・IT	建設・建築・土木	工学	美術・芸術	美容・服飾	その他(他ビジネス関連)	その他
全体	763	27	111	6	1	57	15	3	63	39	17	158	82	41	69	23	9	9	33	4	20	11	12	18	19	181	57	30	45	20	71	171
農林水産	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1
鉱業・電気・ガス・水道・ その他のエネルギー	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	1	0	0	0	2
建設・土木・工事・ プラント	33	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	6	4	1	2	2	0	2	1	2	0	2	4	0	0	6	25	2	0	0	2	3
不動産	14	0	2	0	0	0	0	0	2	2	0	3	3	1	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3	8
製造	79	1	1	0	0	3	0	0	2	3	0	21	12	5	12	2	0	2	1	0	1	1	3	2	0	24	6	14	2	0	17	28
運輸・倉庫	24	0	2	0	0	1	0	0	2	1	0	4	4	0	2	0	0	0	2	0	2	1	1	1	1	3	0	0	1	1	1	4
商業・卸売・小売	65	0	4	1	0	5	4	0	9	2	1	22	8	3	10	0	0	1	5	1	3	0	0	2	2	16	2	0	3	5	8	14
飲食店	20	0	2	0	0	2	0	0	3	0	2	7	2	2	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	3	1	0	1	2	3	6
金融・保険・投資・共済	31	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	4	9	3	3	5	1	1	2	0	1	0	0	0	0	9	1	0	0	0	2	8
通信・IT関連サービス	78	1	4	0	0	1	1	0	5	0	0	11	6	6	6	2	0	0	5	0	2	1	2	3	1	49	5	3	8	0	5	10
その他のサービス	132	1	14	1	1	4	0	1	11	5	3	28	16	9	15	8	2	1	2	0	7	3	1	4	1	27	5	4	11	4	21	47
新聞・出版・放送	10	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	1	0	0	2
保健・医療・福祉関連	120	23	63	3	0	33	8	2	7	5	3	13	4	3	3	1	1	0	1	0	0	0	1	0	6	9	3	1	1	1	2	9
学校・教育	44	1	7	0	0	2	0	0	9	14	7	14	3	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	4	0	3	0	2	4	0	1	6
研究開発・研究機関	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	0	0	0	1
政府・地方公共団体・ 各種法人・団体等	26	0	3	0	0	0	0	0	2	2	0	7	6	0	4	0	4	1	3	0	1	0	0	0	0	4	1	0	1	0	0	1
その他	68	0	4	0	0	3	2	0	5	5	1	13	2	6	1	2	0	1	7	1	1	3	0	2	1	15	3	1	12	7	6	21

- 回答者数が一定数ある業種をみると、各業種の業務に近い分野を学んでいる傾向にある
- 例)
 - ・通信・IT関連サービス
→AI・IOT・IT
 - ・保険・医療・福祉関連
→看護学、介護
 - ・学校・教育
→心理学、教育学、語学